



舗装会館のご案内



一般社団法人 栃木県舗装協会

〒320-0032 宇都宮市昭和3丁目1番26号
栃木県舗装会館

TEL.028-622-6082 FAX.028-625-2539

<http://www.tochihokyo.com/>

e-mail. tochihokyo@mte.biglobe.ne.jp

Pavement

ペーブメント
vol.49
令和6年12月1日発行 編集・発行



一般社団法人栃木県舗装協会 広報委員会

〒320-0032 宇都宮市昭和3-1-26 TEL.028-622-6082

Pavement

ペーブメント

2024-12
vol.49



寄稿のページ

県土整備部2.0

栃木県企業局のPR

森に関わってきて

農村における防災減災対策

日光の魅力





一般社団法人 栃木県舗装協会
 会長 岩見 高士

ごあいさつ	一般社団法人 栃木県舗装協会 会長 岩見 高士	1	
寄稿のページ	県土整備部2.0	栃木県県土整備部 部長 谷 英夫	2
	栃木県企業局のPR	栃木県企業局次長兼 経営企画課長 上野 寿幸	4
	森に関わってきて	栃木県環境森林部次長 大栗 英行	6
	農村における防災減災対策	栃木県農政部参事兼 下都賀農業振興事務所長 藤沼 良彰	8
	日光の魅力	栃木県日光土木事務所 参事兼所長 野澤 浩	10
建設事業関係功労者表彰 若手技術者からのメッセージ	渡辺建設株式会社 和知 孝道	12	
令和6年 優良建設工事技術者表彰	株式会社浜屋組 阿美 詠人 株式会社増潤組 星野 耀輔	13	
とちぎ建設ネクストマスターを受賞して	小平興業株式会社 小林 瑛	13	
技術のページ	橋梁の長寿命化に貢献できる高性能防水の紹介	ニチレキ株式会社 関東支店 技術課 大島 華子	14
	機械式フォームドアスファルト混合物について	世紀東急工業株式会社 技術本部 技術研究所 所長 坂東 芳博	16
令和6年 優良安全管理 現場代理人表彰	株式会社野澤実業 川中子 朋樹 東武建設株式会社 門澤 正明	上岡土建株式会社 今井 大樹	18
	岩澤建設株式会社 中田 循司 佐藤建設工業株式会社 横山 政行		19
	石川建設株式会社 木下 昂昭		19
令和6年 優良工事完成 《知事表彰》	石川建設株式会社		20
	大幹・菊地特定建設工事共同企業体		21
令和6年 優良工事完成 《知事奨励賞》	東武道路工業株式会社		22
	天野建設株式会社		23
令和6年 優良工事完成 《所長表彰》	株式会社大岩建設		24
	株式会社佐藤組		25
	株式会社丸あ組		26
	マルホ建設株式会社		27
	主要地方道 西那須野那須線 那須塩原市上中野工区		28
大規模工事完成	主要地方道 矢板那須線 那須塩原市堰場工区		29
	国内初となる全線新設LRTライトラインの歩み		30
話題	都市計画道路3・5・102号家富町堀込線中橋架替事業について		32
	熊本・福岡 震災復興視察		34
一般社団法人 栃木県舗装協会の 事業概要	1. (一社) 栃木県舗装協会 通常総会 2. 永年勤続優良従業員表彰 3. 令和5年度舗装三県合同協議会 4. 令和6年度安全衛生大会・安全衛生セミナー 5. 令和6年度暴力対策連絡大会 6. 県土整備部との舗装事業に関する意見交換会 7. 令和5年度ゴルフコンペ (秋季) 8. 令和6年度ゴルフコンペ (春季)	9-1. 令和5年度 第1回安全パトロール 9-2. 令和5年度 第2回安全パトロール 10. 道路環境美化活動(愛ロード事業) 11. 令和5年度・6年度技術研修会 12. 令和5年度安全衛生講習会 13. 令和6年度舗装施工管理技術講習会 14. 各種委員会	36
関連団体の動き	1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会 2. 栃木県アスファルト合材協会 功労者表彰 3. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 第35回北関東ブロック連絡協議会大会		43
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿			44
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員			46
栃木県アスファルト合材協会 会員名簿／工場一覧			48
編集後記			50

日頃より関係機関の皆様方には、私達の協会運営に対しまして、温かいご指導、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、会員の皆様方には、協会活動に積極的にご参加、ご尽力を頂きまして誠に有難うございます。

現在、私たちの舗装業界は、これまでにない変革期に直面しています。急激な技術革新、環境問題の深刻化、そして少子高齢化による人材不足など、多くの課題が山積しています。特に、最近の労務、資材価格の高騰は、私たちの経営や工事の進行に多大な影響を与えています。

こうした困難な状況の中では、業界全体が一致団結し、これらの課題に積極的に取り組むことが重要だと考えております。

また、環境対策の観点からも、私たち舗装業界は大きな責任を負っています。道路インフラは社会の基盤を支えるものであり、その建設・維持管理に伴う環境負荷をできる限り軽減する必要があります。二酸化炭素の排出削減やリサイクル材料の活用、さらには省エネ技術の導入など、持続可能な舗装技術の発展を促進しなければなりません。

こうした環境への取り組みを最優先課題とし、各会員企業の皆様とともに、より良い未来を実現するために力を合わせてまいります。

加えて、業界全体での人材育成がこれまで以上に重要なテーマとなっています。人口減少に伴い、若手人材の確保が難しくなる中で、経験豊富な技術者から若手への技術・知識の継承が急務です。協会では、各種の教育プログラムや研修制度を通じて、次世代を担う若手技術者の育成を積極的に支援してまいります。

さらに、デジタル技術の活用も今後の大きな鍵となるでしょう。ICTやAI技術などを活用することで、工事の効率化や精度の向上、さらには働き方改革を進めることが可能です。新しい技術を積極的に取り入れることで、私たちはより競争力の高い業界を築き上げることができると信じています。

舗装の専門工事業者として、一致団結し、これらの課題に立ち向かうために会員企業の皆様と共に、より持続可能で、先進的な技術を取り入れた舗装業界を築き上げるために、全力を尽くしていく所存です。多くの諸課題の解決と、「次世代の担い手の確保」を推進していくために、協会員の皆様には今まで同様のご支援、ご協力を、そして、各関係機関の皆様方には、今後とも温かいご指導、ご支援が頂ければと思います。よろしく願いいたします。



県土整備部2.0

栃木県県土整備部長

谷 英夫



1 トランスフォーム県土整備部

栃木県舗装協会の皆さまには日頃から栃木県行政、特に県土整備行政の推進にご理解とご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。日頃お世話になっている皆さまに、実は県土整備部の内情をお伝えする機会がなかなかないので、良い機会をいただいたので報告いたします。

平成19年度の庁内の大規模組織改編に伴い、長年慣れ親しんだ「土木部」から「県土整備部」に改組されて久しいですが、時代の趨勢や取り巻く環境の変化に伴い、県土整備部の業務内容やその方向性に変化が生じてきております。これまでもその時々必要に応じて適宜、組織体制の整備や見直しを行ってまいりましたが、特に今年度は過渡期、新たな県土整備部の始まり、いってみればver.2.0へとも言えるような改組トランスフォーメーションを行いましたので大所を紹介します。



県庁

2 水道行政を県土整備部が所管するということ

令和6年4月1日、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律が施行され、水道行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管されました。これに伴い本県においても、県土整備部内に「上下水道課」を新設し、保健福祉部生活衛生課から水道行政を移管しました。なお、本年度4月時点で土木部局に移管しているのは、青森県、宮城県、福井県、山梨県、愛知県、京都府、愛媛県、高知県です。

水道行政における喫緊の課題は、令和6年能登半島地震で顕在化した老朽化や耐震化への対応、災害発生時における早急な復旧支援、渇水への対応、更には水道事業の経営基盤強化等への対応です。これらの課題に対し、県土整備部が施設整備や下水道運営、災害対応に関する能力と知見や、9つの土木事務所ネットワークを活用し、水道行政を一元的に担当することで県民の水道に対する安全・安心をより高めることとなります。

水道法第一条に掲げる「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与すること」という目的を果たすため、水道行政の機能強化や上下水道一体で効果を発現させていく必要があります。県土整備部に水道行政を移管してよかったと言われるよう尽力いたします。



LRT

3 都市計画課が都市政策課へ

令和3年の静岡県熱海市における大雨に伴う盛土崩落で大規模な土石流災害が発生したことや、全国的に危険な盛土等に関する法律による規制が必ずしも十分でないエリアが存在していること等を踏まえ、令和5年5月「宅地造成等規制法」が「宅地造成及び特定盛土等規制法」に抜本的に改正されました。土地の用途にかかわらず、危険な盛土等を包括的に規制することになり、庁内での役割分担は区域指定や許可等事務は県土整備部が、不法盛土対応は環境森林部が所管することとなりました。

県土整備部では、令和6年度からの区域指定に係る各種調整や許可業務の準備、市町への権限移譲のための調整など業務が本格化、増大化することから、盛土規制業務を住宅課から都市計画課に移管し、新たに「盛土安全推進班」を設置することにしました。これに伴い都市計画課で新たに都市防災分野である盛土規制法を所管することから「都市政策課」へ改組しました。

令和7年4月から盛土規制法の運用開始ができるよう、市町や隣接県と連携を図り規制区域や制度運用の検討や市町との連携体制の構築などの準備を進め、規制区域の案である基礎調査の結果を公表しました。盛土等による災害から県民の生命や財産を守るためには、危険な盛土等を県内一律の基準で規制することが必要であることから、県土整備部の持つ知見と8つの土木事務所ネットワークを最大限に活用し、盛土規制法の統一的な運用を図っていきます。



自動運転バス

4 土木系の学部学科では教えてくれないことが増えたけど

水道行政や盛土規制の他にも、現在の県土整備部のいわゆる重要事項・懸案事項の一部には、公共交通の維持確保や無人自動運転サービスの推進など、これまでの旧建設省系である道路、河川・砂防、都市の分野の延長線ではない旧運輸省系、つまり土木系の学校ではこれまで教えてくれなかったことの存在が大きくなっています。

とはいえ、このところこれまで経験したことがないような規模の地震発生や台風の動き、豪雨豪雪などが頻発しており、減災・防災、国土強靱化の推進等による県民の生命・財産・日々の生活の安全・安心の確保や、持続可能な経済成長の実現のための生産性向上に資するインフラ整備等による地域づくり・地域活性化、更には建設産業における処遇改善や働き方改革等、県土整備部一丁目一番地の仕事には、引き続き重点的に取り組んでまいりますので、協会の皆さまの御支援をよろしく申し上げます。



荒川竣工式



栃木県企業局のPR

栃木県企業局次長兼
経営企画課長

上野 寿幸



せっかくの機会をいただきましたので、私が勤務しております栃木県企業局のPRをさせていただきます。

企業局は、昭和31年に電気事業に地方公営企業法を適用して電気局を設置して以来68年を経過している組織です。

その後、昭和47年に鬼怒左岸台地地区水道事業が移管されることを機会に企業局に組織改正され、今に至っております。

人口減少などの社会経済の変化や利用者等のニーズへの的確な対応など経営環境の変化と課題に対応すべく、「栃木県企業局経営戦略」において経営方針として、「安定的なサービス提供」「経営基盤の強化」「地域や環境への貢献」の3つの柱を掲げ5つの事業を展開しております

事業といたしましては、県民生活や経済活動の基盤となる電力や水道用水・工業用水の安定供給をはじめ、地域経済の成長に寄与する産業団地開発を市町と連携しながら、進めております。

事業の一部を紹介しますと、電気事業では、先般運転を再開した風見発電所において、高効率水車を採用し、改修前と比べ発電電力量を増加させるとともに、送電線との連系を複線化し、エネルギー供給のレジリエンス向上を図っております。

風見発電所につきましては、インターネット上でいつでも見学できるバーチャルコンテンツを下記により公開しておりますので、時間のある時に覗いていただければ幸いです。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/j51/kengaku/digitalkengaku.html>



風見発電所(水車室)



風見発電所(全景)



風見発電所(変電所)

次に、貴協会に工事の際に特にお世話になる産業団地開発については、鹿沼インター産業団地において、第2期予約分譲用地の令和7年中の引渡しを目指して着実に整備を進めております。

また、みぶ中泉産業団地については、本年度は用地取得を進めるとともに一部造成工事に着手し、令和7年度中の一部予約分譲案内を目指しております。

これらに続く新規整備箇所についても、関係市町と十分に意見交換を重ね、企業ニーズを的確に捉えた魅力の高い産業団地開発の実現に向けて取り組んで参りたいと考えております。



鹿沼インター産業団地



最後にとちまるゴルフクラブのPRをして終わりたいと思います。オープンから32年が経過し、昨年度までに、クラブハウスのロッカールーム等の改修工事が完了したところです。コースに関しましても芝生の適切な管理はもちろんのこと、コース乗り入れ可能なナビ付カートも導入しております。

今後とも、シンプル&リーズナブルをコンセプトに、幅広い年齢層の方々が気軽にゴルフを楽しめる施設を目指し、取り組んで参りたいと考えております。皆様方のご利用をお待ち申し上げます。



とちまるゴルフクラブ(クラブハウス)



とちまるゴルフクラブ(ロッカールーム)



とちまるゴルフクラブ(コース内)



森に関わってきて

栃木県環境森林部次長

大栗 英行



県庁に入って37年目になる私の初めての仕事は、林道の舗装工事でありました。十分な知識もなかったため、苦労した記憶しかありませんが、その林道が今なお機能し続けていることに、改めてささやかな安堵を覚えるところでした。

こうした私が現在までの県庁生活で特に印象深いことを問われれば、「とちぎの元気な森づくり県民税」の導入と「栃木県林業大学校」の開校であります。

「とちぎの元気な森づくり県民税」は、県民の方々へ新たな負担をお願いするものであるため、税の必要性や取り組むべき課題と対策、そして税導入による効果等について、約3年の検討を重ね、平成20年度に導入しました。

これまでに荒廃林分の間伐や高齢級林分の若返りなど、森林の公益的機能を発揮する上で優先すべき取組を行ってきています。

現在、頻発する災害への対応や社会問題と言われる花粉症対策など、森林に関わる課題が一段と多様化、複雑化してきていますので、「とちぎの元気な森づくり県民税」もこれまで以上に効果的な活用が求められていると考えています。



森林の若返り



間伐の状況



林業大学校の外観

次に、「栃木県林業大学校」は、森林整備の増大に伴い必要となる林業人材を確保・育成するため、望まれる人材像や栃木らしい学校の在り方などについて、林業団体・高校・大学等と議論を重ね、本年4月に開校したところであります。

本県の林業大学校は、林業へ就業を希望する方はもとより、既就業者や経営者も学べる機会を備えていることが特色であり、県産木材をふんだんに用いた学舎で木の温もりを感じながら学んでいただく環境も整えています。

開校初年度の今年度は、1年間の就業前長期課程に第1期生21人が学んでいます。来年4月には、全ての学生が必要な知識・技術・資格をしっかりと身に付けて、県内の林業事業者へ元気に羽ばたいてくれるものと期待をしています。

そして、「栃木県林業大学校」がこれからも人材の確保・育成という責務を果たし続けていくことで、この学校から巣立った若者たちが、本県の林業を支え、林業の未来を切り拓いてくれることを願っています。



林業大学校の内観



農村における防災減災対策

栃木県農政部参事兼
下都賀農業振興事務所長

藤沼 良彰



1 近年の状況

令和6年も全国各地で台風やゲリラ豪雨による被害が発生しています。日本の年間平均降雨量は約1,700mmと大きな経年変化はないものの、7月から9月の降雨量は大きく変化し、短期間に集中的・局地的な豪雨が頻発しています。

栃木県内では、茂木水害(S61)、那須水害(H10)、関東・東北豪雨(H27)、東日本台風(R元)などにより農村に甚大な被害を与えました。雨の降り方と同様、被害も局地的に発生しているように思われます。



平成10年那須水害の様子

2 これまでの土地改良事業

昭和24年の土地改良法制定以来、これまでに県内の水田の約70%が区画整理され、基幹的水路約800km、農道約2,500kmが整備されてきました。

これらの施設は徐々に耐用年数を迎えており、維持・更新が今後の大きな課題となっています。



老朽化に伴い更新が進む石川排水樋管
(栃木市 部屋南部地区)

3 農業・農村が有する多面的機能

農村で農業が継続されることで、私たちの生活に様々な『恵み』をもたらしています。この『恵み』を多面的機能といいます。

代表的なものでは、生物多様性の保全機能、地下水かん養や水質浄化機能、洪水防止機能などがあります。中でも、水田には雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防ぐ機能が備わっています。

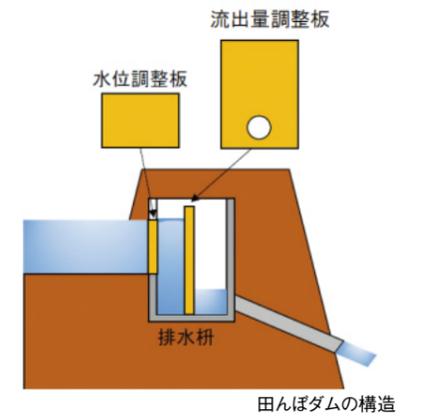
農村や農地を守り、農業を持続可能なものへと発展させることは、食料の確保だけでなく、日常生活の安全・安心へとつながっているのです。

4 栃木県流域治水プロジェクト

台風やゲリラ豪雨による水災害を軽減・防止するには、水田に雨水を貯めるだけでは不十分です。山林の保水機能を高めること、学校や宅地に貯水機能を持たせること、インフラ施設の機能を強化するなど、流域全体で雨水流出を抑えつつ安全に排出することが重要です。

このため、河川流域の関係者が協働で治水対策に取り組むことを目的に、令和3年に栃木県流域治水プロジェクトが発足し、令和5年には農村地域の対策として農村地域雨水流出抑制対策基本指針(思川流域)が策定されました。

具体的には、田んぼダムによる水田への雨水貯留、農業用ため池の事前放流による空き容量の確保、土地改良事業での河川調整池の用地創設など地域関係者との話し合いで推進するものです。



田んぼダムの構造



農業者による排水樋の設置
(小山市 思川西部)



多面的機能の維持
(下野市 地域で行う水路の泥上げ)

5 今後の防災減災対策

今後の防災減災対策の推進には地域住民の意識醸成が第一です。農業活動や学校活動、普段の生活に支障のない範囲で出来る限りの対策を講じる必要があるでしょう。



日光の魅力

栃木県日光土木事務所
参事兼所長



野澤 浩

日光との関わりが深まったのは、37年前新規採用職員として日光土木事務所に配属になった時に遡ります。日光は地形が険しく、気象状況も厳しい一方で、豊かな自然や優れた景観、歴史的・文化的資産も多く、温泉にも恵まれるなど非常に魅力的な地域です。

そこでこれまで勤務した中で、印象に残る日光の魅力をご紹介します。

まずは食事ですが、おいしい蕎麦や名店など数多くありますが、他ではなかなか経験する機会が無いものとして、囲炉裏を囲んで郷土料理を楽しめるところです。屋外でバーベキューすることはあっても、旅館又は民宿などで囲炉裏を囲んで食事という経験は限られるのではないのでしょうか。

山椒魚や一升べら、縮めに蕎麦と、珍しい料理などゆっくりとした時間の中で楽しめ、印象深く残っております。

それから「石焼き」という伝統的な調理方法があります。

河原で、大きな石を木材等で高温に焼き、石の上にジャガ芋や味噌で土手を作り、その中で肉や野菜を料理するものです。

個人では準備が難しいこともあり、保存会があり対応してくれるようです。

こうした伝統はこれからも引き継がれ、残されていって欲しいものです。



囲炉裏を囲んでの食事



明智平からの眺め



華厳溪谷からの滝



40年以上続く青森県とのアイスホッケー交流試合

続いてスポーツについてですが、日光ではフィールドホッケー、アイスホッケーが盛んに行われています。その中で私の場合、アイスホッケーから大きな恩恵を受けました。

日光勤務となるまでアイスホッケーは全く馴染みが無いスポーツでしたが、4月の配属になったその日にクラブへの参加勧誘がありました。新採用職員であり、断れない雰囲気もあり（今ではパワハラ）、とりあえず名前だけと部員になりました。それから37年、アイスホッケーのお陰で、職員生活が充実し、職員との横の繋がりにも大いに役立ってくれました。ケガもありましたが。



交流試合 フェイスオフ

今年12月には、日光市内で十数年ぶりに全日本アイスホッケー選手権が開催されるとのことであり、ディフェンディングチャンピオンである日光アイスバックスの活躍を期待したいところです。既にアジアリーグは始まっており、霧降アイスアリーナでの観戦が可能ですので、皆様もスピード感あり迫力満点のプレーをご覧くださいいただければと思います。

他にもいろいろ魅力がありますが、以上が日光において特に印象に残っているものです。

最後になりますが、舗装協会の皆様にはこれまで安全安心そして円滑な道路交通を支えていただき、心から感謝申し上げます。今後とも協会の更なる発展を祈念しております。



六方沢橋 桁下補修工事



金精道路除雪

* 建設事業関係功労者表彰 *



渡辺建設株式会社 取締役会長 和知 孝道

建設業に継続して従事し、優れた功績で業界の発展に寄与されたことで、当協会副会長の和知 孝道氏が、この度、栃木県建設事業関係功労者の表彰を受けられました。和知副会長には、長年にわたり、舗装業界におけるご尽力と数々の成果を挙げられてきました。

今後とも、和知副会長のご活躍に大いにご期待申し上げ、心よりお祝い申し上げます。

* 若手技術者からのメッセージ *

建設業の達成感

株式会社浜屋組
阿美 詠人



私はこの仕事を始めて4年になります。父が重機のオペレーターだったこともあり、建設業に興味を持ちました。やるなら現場監督にしろと言われ、現場技術者になることを決めました。この業界に入った理由はその程度で、強い憧れなどがあつたわけではありません。

しかし、今ではやりがいや楽しさを強く感じています。入社当時は右も左もわからず、注意を受けることも沢山あり、辛いと思う時もありました。今では分かることや一人で出来ることも増えていき、先輩や協力業者の方のサポートもあり、自分も現場に携わっているという実感を持ちながら仕事に取り組んでいます。そして日々の作業では協力業者の方とコミュニケーションをとり、楽しく活気のある現場作りを心掛けています。

なにより現場が完成した時にはとても達成感があります。大変なこともあります、その分やりがいや楽しさを感じることが出来ると思っています。

私は現場技術者としてまだまだ未熟ですが、最先端の技術を取り入れながら先輩や周りの人たちの知識や技術などを吸収していき、早く一人前になれるよう努力していきます。

そしてより良い物を造り、より多くの人役に立てる技術者になりたいです。

毎日が勉強・日々成長!!

株式会社増測組
星野 耀輔



私は、高校・大学と土木科を専攻しました。しかし、机に向かって行っていた勉強と現場での作業は全くの別物でした。

毎日変化していく現場の中で、覚えることは多く入社して4年経った今も毎日が勉強だと感じています。楽な仕事ではありませんが、やりがいや達成感他他の業界よりも感じられると思います。私も、経験豊富な先輩方指導の下、日々業務に取り組んでいますが工事が完成したときの喜び、そしてその道や構造物が地図に残り子供や孫の代まで受け継がれていくことにとても魅力を感じています。

近年では、最新技術の導入事案も増えてきており、写真管理や施工管理にスマートフォンを活用するなど作業の効率化も進んでいます。また、勤務時間の見直しや清潔な作業環境など働きやすい環境への意識も高まり、魅力的な建設業界へ変化してきています。

最後になりますが、建設業の仕事は一人の力で完成するものではありません。完成するまでに多くの人と関わり、意見をぶつけ合いながらよりよいものを造っていきます。時にはトラブルもありますが、それを乗り越えた先に人々の豊かな生活があります。私は、これからもこの仕事に誇りと責任をもって成長し続けていきたいです。

* 令和6年度 優良建設工事技術者表彰 *

県が発注し、県内の建設業者が施工した建設工事を令和元年度から令和5年度に優秀な成績で完成した技術者として、以下の当協会会員社の21名が、この度、栃木県優良建設工事技術者の表彰を受けられました。

今後とも、皆様のご活躍に大いにご期待申し上げ、心よりお祝い申し上げます。

No.	氏名	所属	No.	氏名	所属
1	赤羽根 賢治	神谷建設(株)	11	小林 利之	山本建設(株)
2	池田 康朗	磯部建設(株)	12	小林 蓮	宇都宮土建工業(株)
3	大津 勇	(株)大岩建設	13	櫻井 智	(有)松本工務店
4	大宮 六則	マルホ建設(株)	14	佐藤 尚	磯部建設(株)
5	小口 敏史	(株)増測組	15	佐藤 好雄	宇都宮土建工業(株)
6	小野寺 美敬	東武建設(株)	16	鈴木 元大	岩原産業(株)
7	刈田 豊	(株)増測組	17	田村 浩二	桜岡建設(株)
8	菊池 美智雄	小平興業(株)	18	長岡 三智也	東武道路工業(株)
9	木村 正男	宇都宮土建工業(株)	19	中島 正浩	(株)薄井土木
10	郡司 貴純	(株)生駒組	20	峰 英樹	東武道路工業(株)
			21	横山 政行	佐藤建設工業(株)

* とちぎ建設ネクストマスター *

とちぎ建設ネクストマスターを受賞して

小平興業株式会社
小林 瑛



この度は「とちぎ建設ネクストマスター」をいただき誠にありがとうございます。

受賞した事は誠に光栄な事ですが、私の努力だけではこの日を迎える事が出来なかったと思っております。

入社後約2ヶ月の研修期間を終了してから、重機土工をメインとして現場で働かせていただきました。当然知識や経験の無い私は先輩方の足を引っ張るばかりでしたが、そんな私を邪険にせず、重機操作や現場のルールなど様々な事を親身になって指導して下さったのが現場で

活躍されている先輩方でした。そんな先輩方を見て私も将来この様になりたいと思い、日々の作業の中でアドバイスをもらいながら工夫し精進して参りました。

この様な環境で経験を積めた事が「とちぎ建設ネクストマスター」の受賞に繋がったと考えておりますので、日々仕事でお世話になっている先輩方には感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。これからもより一層腕を磨き先輩方をサポート、更には現場の第一線に立って仕事を進められる様に努めて参ります。

橋梁の長寿命化に貢献できる 高性能防水の紹介

ニチレキ株式会社 関東支店 技術課
大島 華子



1. はじめに

近年、橋梁の老朽化や損傷等により通行止めや重量制限などの規制が全国的に発生している状況にあります。このような橋梁は、大規模な補修が必要となり、それには多大な費用が掛かります。

また、日本の橋梁の多くは、昭和30年代に始まる高度経済成長期に建設されたため、昨今では、建設後50年を超過する割合が急激に増加し、床版等の劣化損傷が顕在化してきています。このような状況を受け、床版防水は、橋梁をより長く健全な状態で保つことができる耐久性の高い材料の需要が高まっています。

そこで、本稿では耐用年数30年相当の耐久性を有する「高性能防水」として、全国で適用が拡大している「HQハイブレンAU工法」「HQペーパーレン工法」について紹介いたします。

2. 高性能防水の紹介

2-1 HQハイブレンAU工法 (NETIS登録番号:KT-140098-VE)

HQハイブレンAU工法の構成断面は図-1に示すとおりであり、高いたわみ追従性を有するウレタンと、防水性および舗装との接着性に優れたアスファルトを融合したアスファルトウレタンを主材料とした塗膜系床版防水工法です。本工法は耐用年数30年を想定したNEXCO規格「グレードⅡ」に適合した「高性能防水」に位置づけられ、その優れた性能の一例として「接着性」が挙げられます。

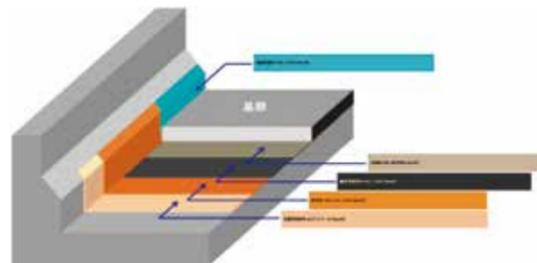


図-1 HQハイブレンAU工法 構成断面

具体的には、防水材(HQハイブレンAU)とアスファルト混合物が接着性に優れた特殊改質アスファルトを適用した舗装接着材(HQコートAU)により強固に接着するため、舗装のズレやポットホールが発生を防止することができます。また、コンクリート床版および防水材との接着性に優れたエポキシ樹脂を適用した床版用接着材(AUプライマー)により、コンクリート床版と防水材(HQハイブレンAU)の接着力を高めています。これにより、コンクリート床版内部の気泡や水分の膨張等によって生じる、防水材や舗装の膨れ(プリスタリング)の発生に対しても高い抵抗性があります(図-2)。

施工に関して、防水材(HQハイブレンAU)は専用機械により吹付ける必要がありますが、瞬結タイプのため均一な防水層が確保でき、床版面から端部の立ち上がり部までシームレスな防水層を構築できます。

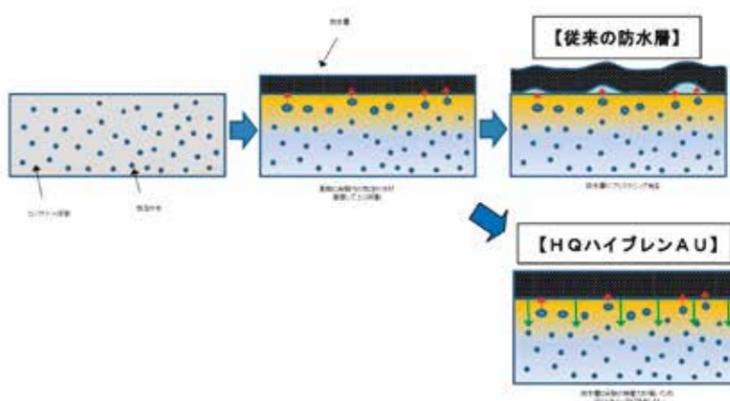


図-2 プリスタリング発生の原理



写真-1 AUプライマー
塗布状況



写真-2 HQハイブレンAU
散布状況



写真-3 HQコート
塗布状況

2-2 HQペーパーレン工法 (NETIS登録番号:KK-240046-A)

HQペーパーレン工法の構成断面は図-3に示すとおりであり、従来の床版防水工法と同程度の施工性を有し、尚且つ、優れた接着性を持つ塗膜防水材(ペーパーレンコート)と、ひび割れ抵抗性に優れた特殊改質アスファルト(ペーパーレンファルト)を使用した水密性の高いアスファルト混合物(FB5)で構成されます(図-4)。これにより、従来の高性能防水と同程度の性能を有しています。

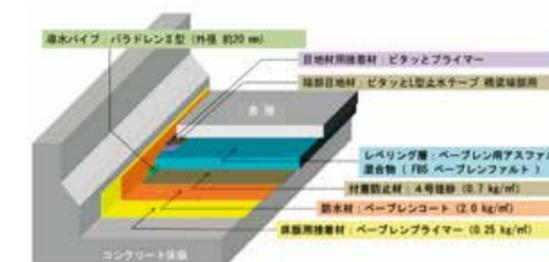


図-3 HQペーパーレン工法 構成断面

従来の高性能防水は、防水材で防水性能を担保しており下地処理に時間を要しました。そのため、主に新設橋で施工されていました。本工法は一般の橋面防水・舗装でも使用される施工機械で施工することが可能であり、時間的制約を受ける補修橋においても一般の防水・舗装と変わらない時間で施工が可能です。

さらに、補修橋では床版用接着材の施工時に、残存タックコート等の影響で施工の遅延や接着の不良などが発生する懸念があります。本工法はカットバック抑制性能を持つ床版用接着材(ペーパーレンプライマー)を適用することで、乾燥時間の遅延や接着強度の低下が生じにくい特徴も持ち合わせています。

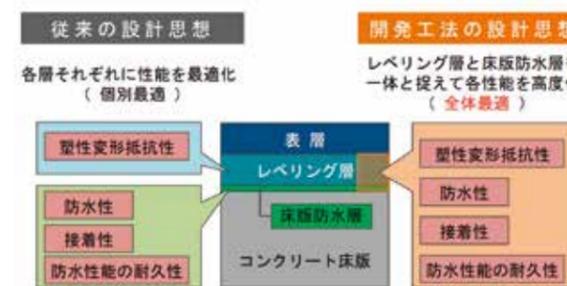


図-4 工法の設計思想



写真-4 ペーパーレンプライマー
塗布状況



写真-5 ペーパーレンコート
塗布状況



写真-6 ペーパーレンファルト
舗設状況

3. おわりに

今回紹介した2種類の高性能防水は、従来の床版防水よりも耐用年数を延ばし補修回数を減らすことができる技術となります。これにより、橋梁の長寿命化が図られ、ライフサイクルコストの低減、CO2の削減が期待されます。当工法を通して、今後も橋梁の長寿命化に貢献していく所存です。

機械式フォームド アスファルト混合物について

世紀東急工業株式会社 技術本部 技術研究所 所長

坂東 芳博

1. はじめに

我が国の2022年度におけるCO2排出量は約10億3,700万tで、そのうち建設業を含む産業部門の排出量の割合は34%を占めています^①。舗装工事においてもCO2排出量削減は喫緊の課題として取り組みが進められています。アスファルト舗装工事においては工事全体のCO2排出量のうち約8割が材料製造時すなわちアスファルト混合所からの排出とされています。そこで本レポートでは、アスファルト混合物の製造時に、従来の混合温度よりも30℃程度低く設定し、CO2排出量を削減する中温化技術の取組みのうち「機械式フォームドアスファルト混合物」を紹介します。

2. 機械式フォームドアスファルト混合物とは

中温化技術とは、アスファルト混合物を製造する際に、アスファルトバインダの粘度を一時的に低下させる特殊添加剤（中温化剤）等の効果によって、通常のアスファルト混合物の製造温度および施工温度を30℃程度低減させることのできる技術です。中温化剤には、発泡系、粘弾性調整系、滑剤系などがありますが、最近は発泡系の技術が多く使われています。発泡系の中温化剤は、アスファルト中に微細泡を発生・分散させるもので、発泡系の低炭素アスファルト混合物は、発生・分散させた細かな泡の働きによって見掛け上のアスファルト容積が増加するため、製造時の混合性が向上するとともに、舗設時にはベアリング効果によって締固め性を向上させることができます。舗設後の時間経過に伴って温度が低下すれば微細泡の影響はなくなり、混合物の品質は確保されます。現在、発泡系技術の中でも、アスファルト混合所において混合物製造時に水を噴射してアスファルトを発泡させるフォームド発生装置を使用する「機械式フォームドアスファルト混合物」が主流になりつつあります。

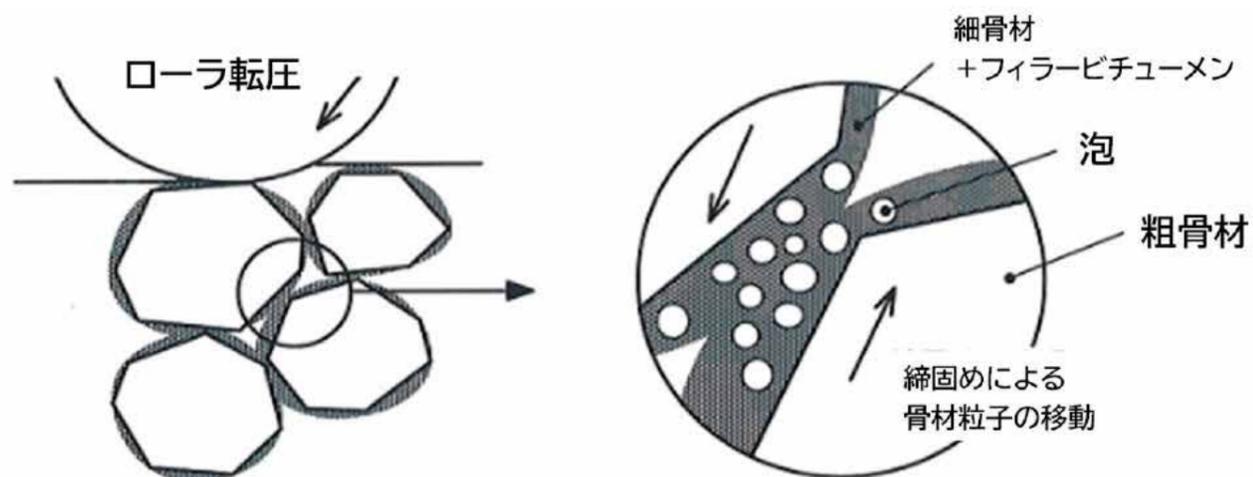


図 発泡系の中温化アスファルト混合物の概念^②



写真 フォームド前のアスファルト(左)とフォームド後のアスファルト(右)

3. 機械式フォームドアスファルト混合物の効果

機械式フォームドアスファルト混合物は、アスファルト混合所に専用装置が必要なことからイニシャルコストはかかりますが、フォームド混合物の製造にあたって必要な材料は水のみですのでランニングコストを抑えることが可能です。

施工に関しては、通常のアスファルト舗装と同様の機械編成、施工方法で通常のアスファルト混合物よりも低い温度領域で舗設することができます。

当混合物の導入による効果としては、製造時の燃料使用量削減によるCO2 排出量の削減に加え、交通開放に至るまでの時間短縮による工事渋滞の緩和、養生時間の短縮による日施工量の増大、規制日数の削減、夏季や厚層施工時の初期わだち掘れの抑制などが期待されます。

また当混合物は通常温度で製造することも可能でその場合、寒冷期や橋面、薄層の舗装施工における品質や施工性の確保、広域運搬での品質や施工性の確保といった効果が期待されます。

4. 今後の展開

機械式フォームドアスファルト混合物は、令和4年にアスファルト混合物事前審査制度に基づくアスファルト混合物事前審査委員会において、新規取扱い混合物として認定され、従来の認定混合物と同様に使用することが可能になりました。現在では東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県内のアスファルト混合所において機械式フォームドによる混合物の認定が行われ、東京都建設局の道路補修工事において先行的に導入が進められています。また、再生アスファルト混合物への機械式フォームドの適用も進められています。

- (i) 環境省ホームページ、2022年度の温室効果ガス排出・吸収量（詳細）、2024.4.12
- (ii) (一社)日本道路建設業協会、(一社)日本アスファルト合材協会、低炭素(中温化)アスファルト舗装の手引き、2024.5



優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社野澤實業 川中子 朋樹

この度は、優良安全管理現場代理人として大変光栄な賞をいただき誠にありがとうございます。
工事を最後まで無事故無災害で何事もなく完成させられたことは、当工事に携わった各関係者皆様方のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。
本工事は渋滞解消のための橋梁上部工新設工事であり、橋面舗装は本工事における最後の工種であったため最後まで無事にやりきるといふ思いで施工を進めて参りました。
毎日の作業ミーティングはもちろんのこと、密に打合せを行うことで作業従事者の安全な施工の進め方、安全作業意識の再認識に特に力を入れました。その結果、第三者からの苦情もなく無事故・無災害で工事を完成させる事ができました。
改めて、この度優良安全管理現場代理人受賞においてご指導ご鞭撻いただいた皆様方には心から感謝申し上げます。
これからもこの賞に満足せず、日々安全な施工で建設業の発展に尽力する所存です。
この度は誠にありがとうございました。



優良安全管理現場代理人を受賞して

上岡土建株式会社 今井 大樹

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰を頂き誠にありがとうございます。
工事を無事故無災害で無事に完成できたことは、現場に携わっていただいた鹿沼土木事務所様はじめ、各関係機関のご指導、協力会社の皆様、地域住民の皆様のご協力があった事であり、心より感謝いたします。
本工事は、工事延長L=200mの区間に函渠型側溝設置、車道部は路床置換～基層までを施工。土工作业に関してはマシンガイダンスを使用したICT施工を行い、手元作業員削減の為、重機との接触事故等のリスクを減らし安全性向上に繋げました。また、他工区と隣接しての施工だった為、連絡調整を密に取ることで他業者や第三者を巻き込む事故の無いよう安全意識の高揚に努め施工を行いました。
今後も今回の表彰を励みに、現場代理人としてより一層の安全管理に努め、無事故無災害で工事を完成できるよう精進します。
この度は誠にありがとうございました。



優良安全管理現場代理人を受賞して

東武建設株式会社 門澤 正明

この度は、優良安全管現場代理人として表彰を頂き誠にありがとうございます。
工事が無事故、無災害で無事に竣工したことは、現場に携わっていただいた各関係機関のご指導、地域住民の皆様のご協力、一緒に工事を行った協力会社の皆様のご協力があった事だと思っております。心より感謝いたしております。
本工事は、観光地となり一般車、バスの交通が多く第三者災害の安全確保に留意し安全管理を行いました。片側交互通行時、誘導員配置図を作成し車両から見やすい配置、通行しやすい規制帯を意識し工事を進めて行きました。ICT活用工事を採用し3次元測量を活用し車道にて行う作業を低減し災害リスクを低減出来ました。
今回の表彰を糧にこれからも、現場代理人として常に高い安全意識を持ち無事故、無災害で工事を竣工出来るよう日々、安全管理を心がけて行きたいと思っております。



優良安全管理現場代理人を受賞して

岩澤建設株式会社 中田 循司

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき誠にありがとうございます。
工事が無事故・無災害で完成できたのも各関係機関のご指導、地域皆様のご理解、ご協力があったことであり、心より感謝申し上げます。
安全管理はこの業界のみならず、いかなる業界においても重要な役割を担っていると考えております。効果的な安全対策を実施するために、労働者の安全と健康を最優先に考えて取り組んでまいりました。また、安全管理を行う上での基本的なところがまえば、挨拶と報・連・相というコミュニケーションであると考えています。モーニング・インスペクトや報告・連絡・相談というコミュニケーションの基礎をおろそかにすることなく、労働者との意思疎通をはかることで、職場の安全性の向上に努めております。
この受賞は私個人の努力だけで、受賞できるものではありませんでした。改めて、私を支えてくださった会社や上司、ご支援いただいた関係者の皆様に、感謝申し上げます。
これからも、現場代理人とし常に高い安全意識を持ち、現場管理を行ってまいります。



優良安全管理現場代理人を受賞して

佐藤建設工業株式会社 横山 政行

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき、誠にありがとうございます。
現場が無事故・無災害で無事完成したことは、現場に携わっていただいた各関係機関のご指導、地域住民の皆様のご協力と、一緒に施工した協力会社の皆様や当社の施工スタッフのご協力があったことだと思っております。心から感謝いたします。
本工事は、国道に隣接する一般県道の舗装修繕工事であり、大型車両の通行が非常に多く、国道交差点の拡幅部から終点に向かって道路も狭くなり、片側交互通行規制中の安全な通行と交差点が規制による渋滞対策が、重要課題でした。
現場内では、朝の危険予知活動により一人一人の安全意識を高めさせるため、声掛け及び指差呼称を積極的に行い、第三者への分かりやすい規制配置と十分な誘導員を配置して無事に工事を完了することができました。
今後も工事現場に潜むリスクアセスメントの重要性を認識し、現場代理人として安全意識を高め、意欲的に安全管理に努めていきたいと思っております。



優良安全管理現場代理人を受賞して

石川建設株式会社 木下 昂昭

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき、誠に光栄に思います。
無事故・無災害での工事を完成させることができたのは、日々ともに働く仲間たちはもちろん、各関係機関等のご指導、地域の皆様のご理解、ご協力があったからだと思います。
本工事は、道路改良工事で現道に歩道を整備するものでした。
隣接する工区もあり、施工手順の調整、周辺の小学校から高等学校・住宅等への事前周知の徹底をし、施工にあたりました。
夏場施工があり、熱中症対策として外気温・体温を同時に測定し、危険性が高まるとアラームにより周知ができる熱中対策バンドと、作業箇所には黒球温度計を設置し、音による危険性への対応を行い、無事に工事を完了させることが出来ました。
私たちの仕事は、多くの人々の安全と未来を支える重要な役割を担っています。その中で、常に挑戦を続け、改善を図る姿勢を忘れずに引き続き精進していきたいと思っております。
この度は誠にありがとうございました。



橋梁補修工事 黒磯板室インター線その1 (道路メンテ)
施工会社／石川建設株式会社

**知事表彰
受賞現場に
ついて**

この度は、当社施工の橋梁補修工事 黒磯板室インター線その1におきまして栄えある知事表彰を賜り、心より御礼申し上げます。

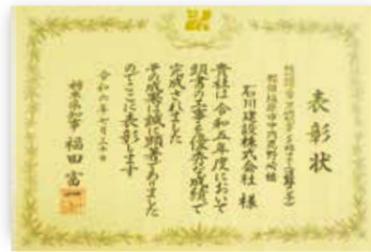
本工事は、現況の伸縮装置が融雪剤等の影響により鋼材の腐食が進行し、一部減肉しているため、早期措置及び橋梁の長寿命化を目的とする工事となります。

施工箇所の中内鹿野崎橋は、東北自動車道を跨ぐ3径間連続鋼箱桁橋の老朽化した鋼床版の伸縮装置の取替工事であり、高速ランプ部の交通規制を伴うことから関係機関（NEXCO東日本・栃木県警察本部高速道路交通警察隊・黒磯板室IC料金所）との調整及び高速道路利用者等に対する周知など課題となりましたが、監督職員の皆様、関係機関の皆様のご指導及び協力業者の皆様の

ご協力があり無事故で工事を完了することができました。

これもひとえにこの工事に関係されたすべての皆様のお陰であり、この場を借りて心より感謝申し上げます。

今後も、この受賞を励みに安全で品質の高い工事を施工し、地域社会に貢献できるよう努めていきたいと思っております。



■ 工事概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 工事名／橋梁補修工事 黒磯板室インター線その1 (道路メンテ)
- 工事箇所／一般県道 黒磯板室インター線 那須塩原市中内鹿野崎橋



一般国道408号 野高谷立体(仮称)建設工事その1
施工会社／大幹・菊地特定建設工事共同企業体

**知事表彰
受賞現場に
ついて**

この度、大幹・菊地特定建設工事共同企業体で施工しました、「一般国道408号野高谷立体(仮称)建設工事その1」におきまして知事表彰を賜り、大変光栄に思います。当現場は、国道408号と県道宇都宮向田線が交差する野高谷交差点から南に位置し、野高谷交差点を立体化する為の、補強土壁工事となります。

本工事においては、関連工事との調整及び沿線の一般道では工業団地へのアクセスが集中し渋滞が発生する為、第三者への配慮も課題となりました。

無事故・無災害で完成することができ、ご協力いただきました地域住民の皆様、発注者様、安全協議会関係者様、協力会社様に心より感謝申し上げます。

一般国道408号宇都宮高根沢バイパス事業は平成21年度より着工し、これまでに全体延長約6.6kmのうち約5.3kmを供用(一部暫定2車線)したところであります。引き続き未供用区間の整備や暫定供用区間の4車線化及び野高谷交差点などの立体化工事が進められています。

これからも品質にこだわり、安心と信頼される責任ある施工に努めるよう励んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。



■ 工事概要

- 発注機関／栃木県宇都宮土木事務所
- 工事名／一般国道408号 野高谷立体(仮称)建設工事その1
- 工事箇所／宇都宮市刈沼町



電線共同溝工事 平町東町線外2路線その4(補助街路)
施工会社／東武道路工業株式会社

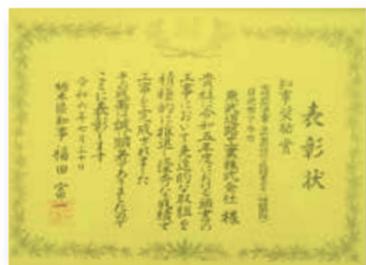
知事奨励賞
 受賞現場に
 ついて

この度は、弊社施工の電線共同溝工事平町東町線外2路線その4(補助街路)におきまして、栃木県知事奨励賞と大変名誉な賞を頂きました事、厚く御礼申し上げます。

本工事は、県道62号線主要地方道今市氏家線の起点に位置し、延長121mの道路改良工事を含む電線共同溝工事を施工いたしました。

JR今市駅から東武下今市駅間の移動ルートでもあり、朝夕は通勤、通学、昼間は観光者の通行が多い区間であることから、施工範囲の細分化、他工事(電柱移設工事及び配水管布設工事)との調整、沿線のお店の方々とのコミュニケーション、安全管理等の苦労もありましたが無事完成しました。これもご理解ご協力をいただきました地域住民の皆様、ご指導いただいた監督職員の皆様、ご尽力いただきました協力会社があつての事と心より感謝申し上げます。

今後も安全第一で高品質の施工を心がけていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程お願いいたします。



■工事概要

- 発注機関／栃木県日光土木事務所
- 工事名／電線共同溝工事
平町東町線外2路線
その4(補助街路)
- 工事箇所／日光市下今市



道路改良工事 461号その1(快安道補)
施工会社／天野建設株式会社

所長表彰
 受賞現場に
 ついて

この度は、当社施工の道路改良工事461号その1(快安道補)に於きまして大田原土木事務所管内所長表彰を賜り大変光栄に思います。

本工事は、一般国道461号と県道親園南金丸線の交差点を含む540mを拡幅と歩道新設を施工しました。この交差点には、右折レーンが無く通勤時間帯の右折待ちの渋滞と直進車との接触事故の危険性が有りました。また、既設歩道は狭く歩行者の通行に不便感が有りました。

また、近隣の小中学校の通学路の為、安全対策に格段の配慮をしました。無事故・無災害で工事施工できた事は、地域住民の皆様のご理解・ご協力とご指導いただきました発注者様およびご尽力いただきました協力会社様あつての事と心から感謝申し上げます。

今後もこの度の栄誉を励みに、安全第一・高品質な施工を心掛け地域社会の発展に貢献してまいりますので、関係者の皆様にはご指導・ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



■工事概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 工事名／道路改良工事 461号
その1(快安道補)
- 工事箇所／大田原市南金丸



道路改良工事 矢板那須線その4(快安道補)
施工会社／株式会社大岩建設

所長表彰
 受賞現場に
 ついて

この度は、当社施工の「道路改良工事 矢板那須線その4」におきまして大田原土木事務所管内所長表彰を賜り大変光栄に思います。

本工事は、主要地方道矢板那須線堰場橋前後延長約1kmのバイパス整備工事で、施工現場内における現道部の曲線区間では車道幅員が狭く、大型通行車両同士のすれ違いが困難な状況でありました。

このような施工条件上の問題を解決するため、用水路の切り直し施工時には鋼矢板圧入に使用する大型クレーンの配置場所と仮設ヤードを工夫したことで大型車両の通行を確保することができました。

また、BOXカルバート設置時では終日片側交互通行規制を行う事となり通行車両同士の接触事故の発生が懸念されるため、電光看板や照明を十分に設置し通行車両に対する注意喚起と視認性を高めつつ交通規制を最小限に抑えた結果、無事故・無災害で工事を完成させることが出来ました。

工事の施工にあたりご協力いただきました地域住民の皆様、ご指導いただきました監督職員の皆様、安全協議会関係者様、協力会社様に心より感謝申し上げます。

今後も地域社会に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

■工事概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 工事名／道路改良工事 矢板那須線その4(快安道補)
- 工事箇所／那須塩原市堰場



道路改良工事 400号西赤田その3(快安道補)
施工会社／株式会社佐藤組

所長表彰
 受賞現場に
 ついて

この度は、当社施工の道路改良工事400号西赤田その3(快安道補)に於いて大田原土木事務所管内所長表彰を賜り、大変光栄であり心より御礼申し上げます。

当現場は、一般国道400号の拡幅を行う工事であり朝晩の通勤時間と昼間の塩原方面へ向かう観光客など交通量が多い場所であることから、工事車両の出入りの安全管理及び民家や側道が多く日々の対応が最も考慮した点でありました。

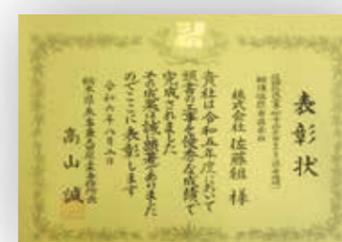
また、拡幅部分の幅員が狭いことから現道の通行に支障をきたさない資材納入方法の検討及び敷鉄板を使用し搬入路整備を行う事により円滑に進める事ができました。

その様な現場条件の中、地域住民のご理解及び関係各社の連携のもとトラブル等もなく工事を進められ、無事故・無災害で全工程を終了する事が出来ました。

今後も、この度の榮譽を励みに安全第一・高品質な施工及び地域社会に貢献できる企業になれるよう心がけて行きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

■工事概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 工事名／道路改良工事 400号西赤田その3(快安道補)
- 工事箇所／那須塩原市赤田





電線共同溝工事3・2・101号大通り外その6(補助街路)
施工会社／株式会社丸あ組



日頃より舗装協会の皆様には、技術面や安全面でも大変お世話になっており感謝申し上げます。おかげさまで所長表彰を賜りました。

本工事は主要地方道宇都宮栃木線と主要地方道宇都宮鹿沼線の交差点を挟んだ場所で高校の乗入れ口もあり道路拡幅をすることもあって、交通規制の仕方や作業時間などに苦労することとなりました。

高校の卒業式などの行事日は休工せざるを得なくなったり、区画線消去をウォータージェットで行うこととなり、専門業者の待ち時間などで工程は厳しくなりました。

しかしながら現場代理人・主任技術者を中心としたチームワークで工程を調整して、何とか工期内に完成させることができました。

交通量の多い交差点等、交通規制の仕方が難しいところがありましたが、規制車・仮設看板等(注意告知)を配置し、大きな苦情なく終わらせることができました。

舗装復旧は部分部分で復旧しなければならず、施工ジョイントが多く付いてしまいましたが、毎回本復旧のつもりで丹念に施工した結果それほど目立たないものとなりました。

今後も安全管理を徹底し、高品質な施工を行い、また受賞できるよう頑張りたいです。

- 工事概要
- 発注機関／栃木県宇都宮土木事務所
- 工事名／電線共同溝工事3・2・101号大通り外その6(補助街路)
- 工事箇所／宇都宮市駒生町(桜)



道路改良工事 大子黒羽線須賀川鹿島その1(快安道補)
施工会社／マルホ建設株式会社



この度は、弊社施工の道路改良工事 大子黒羽線須賀川鹿島その1(快安道補)に於いて、大田原土木事務所管内所長表彰を賜り、大変光栄に思います。

本工事は、旧黒羽町から茨城県大子町への道路拡幅及び舗装工事になります。現道は大型車両が通行する割りには、幅員も狭く途中から歩道も無くなる道路でした。

付近住民の生活道路でもあるため、工事で片側交互通行期間を短縮し砂利開放による、交通災害等に格段の配慮をしました。沿道の住民に対し道路規制について十分説明を行い、ご理解いただけるよう尽力しました。また、移設が遅れた電柱及び路床掘削時の水道管並びに道路横断管が入って居り、施工には大変苦労しました。

工事施工にあたり、ご理解ご協力いただきました地域住民の皆様、ご指導いただきました監督職員の皆様、ご尽力いただきました協力会社の皆様にはこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

今後も、この度の榮譽を励みに安全第一、高品質な施工を心掛け、地域社会の発展に貢献してまいりますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

- 工事概要
- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 工事名／道路改良工事 大子黒羽線須賀川鹿島その1(快安道補)
- 工事箇所／大田原市須賀川鹿島





主要地方道 西那須野那須線 那須塩原市上中野工区

(2024年2月28日供用開始)

主要地方道西那須野那須線は、那須塩原市上赤田地内の一般国道400号から、井口工業団地を經由し、那須町高久甲地区において主要地方道那須高原線に接続する延長約15.5kmの幹線道路です。

本路線は、南側に併行する一般国道4号の補助幹線として、沿線には産業団地等が立地し、県北部地域の物流や通勤、及び観光周遊ルートとして重要な路線です。

暫定2車線で供用している本工区は、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が深刻化しており、通勤・通学者や地域住民の生活に支障を来していることから、円滑な交通の確保が求められていました。

このため、県では、蛇尾川に架かる遅沢橋以北の約1.0km区間について、4車線化の整備を実施しました。本工区の整備により、安全で円滑な交通の確保が図られました。

■事業概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 舗装施工会社／丸山重機(株)、(株)大岩建設、(株)薄井土木



主要地方道 矢板那須線 那須塩原市堰場工区

(2024年4月23日供用開始)

主要地方道矢板那須線は、矢板市乙畑地内を起点とし、那須町高久乙に至る延長約46kmの幹線道路です。

本路線は、東側に併行する一般国道4号の補助幹線として、県北部地域の物流や通勤、及び観光周遊ルートの一翼を担うとともに、第三次緊急輸送道路に指定されている重要な路線です。

しかしながら、箒川に架かる堰場橋付近では、道路線形が屈曲し、縦断勾配も急なため、視距が十分に確保されず、円滑な交通の確保が求められていました。

このため、県では、那須塩原市金沢地内から下田野地内の980m区間について、老朽化した堰場橋の架け替えを含むバイパス整備を実施しました。

本工区の開通により、堰場橋の耐震化が図られるとともに、平常時・災害発生時を問わず、安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されました。

■事業概要

- 発注機関／栃木県大田原土木事務所
- 舗装施工会社／天野建設(株)、(株)谷黒組、那須土木(株)



国内初となる全線新設LRT ライトラインの歩み

「はじめに」

宇都宮市では、100年先も持続的に発展できる「スーパースマートシティ」の実現を目指し、その土台であるコンパクトなまち（拠点）が階層性のある公共交通でつながった「ネットワーク型コンパクトシティ（以下「NCC」）」の形成を進めています。これを支える総合的な公共交通ネットワークの要として芳賀・宇都宮LRT（以下「ライトライン」）の整備を行ってきました。昨年（令和5年）8月26日、路面電車としては国内で75年ぶり、全線新設のLRTとしては国内初となるJR宇都宮駅東側のライトラインが開業し、令和6年7月には利用者が400万人に達するなど、想定以上の多くの方にご利用いただき、同年8月、開業1周年を迎えました。



写真1：開業1周年記念イベント

1 公共交通ネットワークの構築に向けた取組

本市は、NCCを支える公共交通ネットワークの構築に向け、南北方向の鉄道とあわせ、「ライトライン」を東西方向の基軸として、各拠点間を結ぶ幹線・支線からなるバス路線や、それぞれの地域において日常生活の移動を面的にカバーする地域内交通の整備などに取り組んでいます。

2 東西基幹公共交通「ライトライン」について

(1) 「計画」から「実現」までの道のり

ライトラインは、本市東部地域に立地する工業団地への通勤者の増加による慢性的な交通渋滞の社会問題化に伴い、栃木県と本市の出資により設立された宇都宮市街地開発組合が、平成5年度に新たな交通システムを検討したことに始まります。

平成25年3月には、「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」を策定し、その中で、ライトラインを本市の進めるコンパクトなまちが公共交通でつながった「NCC」の公共交通ネットワークの東西の基軸として導入することや、本市東部地域における慢性的な渋滞の緩和や公共交通空白・不便地域の解消などの効果発現が期待できることから、JR宇都宮駅から東側の約12kmの区間から優先的に整備に取り組むこと、行政が軌道や停留場等の施設・車両などを整備・保有し、民間等の営業主が運行や日常の維持管理業務を担う「公設型上下分離方式」を採用することとしました。同年10月には、隣接する芳賀町からの要望を受けて、JR宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地付近までの約14.6kmの整備に取り組むこととし、平成28年9月に軌道運送高度化実施計画の認定、平成30年3月に工事施行認可の取得、同年5月に着工しました。

そして令和5年8月26日、JR宇都宮駅東側のライトラインが開業し、令和6年8月にはたくさんの方に祝福されながら、開業1周年を迎えました。



写真2：鬼怒通りの整備前と整備後

(2) ライトラインの特徴と事業概要

ライトラインは、定時性や速達性など、基幹公共交通にふさわしい機能のほか、鉄道やバスなど他の交通との円滑な連携や、停留場と車両に段差がなくバリアフリーな設計により誰もが乗り降りしやすい工夫が図られています。

全長は30m以下の規定に基づき29.520m、定員は国内の低床式車両の中で最大級となる159人と高い輸送力があり、JR宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地付近までの暮らしに便利な所（駅、商業施設）、住む所や働く所（工業団地）など多くの人が集まる場所を結ぶ、全19停留場からなる約14.6kmを走行しています。そのうち5停留場は乗り継ぎ利便性の向上を図るため、交通結節点（トランジットセンター）として整備を行いました。

また、前述したように、ライトラインは市・町が道路や公園と同様に、「車両・軌道等」を整備・保有し、民間が事業運営を担う「公設型上下分離方式」という新しい事業方式を採用しているという特徴があります。



写真3：ライトラインと停留場

(3) ライトラインの整備効果

ライトライン開業から3か月後の令和5年11月に実施したアンケート調査では、開業前に75.7%だった外出率が、約5.7ポイント増の81.4%となったほか、沿線内における40歳以上の一日当たりの平均歩数が349歩増加するなど、健康増進が期待される結果となりました。

また、開業した宇都宮駅東側のライトライン沿線では、平成24年と令和5年を比較して、住宅地の地価が約11%、人口が約8%上昇したほか、高層建築物の建築確認件数が増加し、マンションの建設による土地利用の高度化が図られるなどの効果が発現しています。

さらに、ライトライン沿線の清原工業団地では、ライトライン開業前後に1,100億円を超える民間投資が公表され、産業拠点としての充実・強化が図られています。

3 JR宇都宮駅西側区間の整備

JR宇都宮駅西側については、令和4年8月に大谷観光地付近までを、引き続き調査・検討を進める「検討区間」とし、NCCの形成の効果を早期に発現させるため、JR宇都宮駅から教育会館付近までを、着実に整備を進める「整備区間」としました。

今後は、2030年代前半の開業を目指し、軌道運送高度化実施計画の策定に必要な各種調査・検討や関係機関との協議・調整を迅速に進めていきます。



図1：JR宇都宮駅西側ライトラインの整備区間（宇都宮駅東口停留場～宝木町1丁目・駒生1丁目付近（教育会館付近））

「おわりに」

ライトライン開業からの1年間、線路等の定期的な点検や専門家との意見交換、運行案内板の設置、ダイヤ改正、停留場周辺の駐車場増設、新たなトイレ整備と、様々な改善・改良に取り組んできました。今後とも、皆さんの声の一つずつお聞きしながら、ライトラインがより安全・安心で便利な乗り物となるよう取り組んでまいります。

これからもライトラインは、皆さんと一緒に歩んでいきます。

都市計画道路3・5・102号家富町堀込線 中橋架替事業について

栃木県安足土木事務所 整備部整備第一課

1 はじめに

一級河川渡良瀬川に架かる足利市内の橋梁は現在12橋が供用しており、そのどれもが重要な社会インフラとして地域住民の生活を守るとともに公共交通や物流等に欠かせない役割を担っています。中でも市街地の中心部に位置し、とりわけ重厚な佇まいで存在感を放っているのが中橋です。

足利市のシンボルとも言うべき3連アーチを有する中橋について、長年の懸案であった堤防嵩上げによる治水安全度向上を図るため、令和3年度から架替事業に着手したところです。



写真1: 中橋の夜景 (足利市提供)

2 現況の課題

今般架替事業の着手に至った背景として主に以下の4つの課題が挙げられます。

- 課題1: 堤防越水のリスク
- 課題2: 歩行者・自転車通行時のリスク
- 課題3: 交通渋滞の慢性化
- 課題4: 橋の老朽化



写真2: 渡良瀬川の左岸堤防



写真3: 過去の出水時の状況



写真4: 宝来社街道踏切付近の渋滞状況

3 事業の目的

これらの課題を解決するため、国・県・市の三者が連携し中橋の架替事業に着手しました。

- 目的1: 低くなっている堤防の嵩上げによる治水安全度向上
- 目的2: 歩行者、自転車の通行分離による交通安全確保
- 目的3: 右折レーン整備等の交差点改良による交通渋滞緩和
- 目的4: 足利市のシンボルとして市民に親しまれてきた中橋3連アーチの継承



図1: 中橋架替前後のイメージ

4 取組状況

令和3年度から4年度にかけて中橋架替及び跨線橋新設に係る橋梁詳細設計を実施しました。これまでに、3連アーチの移設に必要な下部工を概成させており、今年度冬にアーチを1連毎に750tクレーンを2台使用した大規模な移設工事を行います。

また、跨線橋の整備に伴う踏切の閉鎖により、線路南北で地域が分断されないよう、工事中の迂回路として跨線橋近傍への踏切設置及び跨線橋下部工等の必要な用地取得に向けた動きを加速化していきます。



図2: 事業完成イメージ

「おわりに」

足利市においては過去に甚大な被害を受けたカスリーン台風や令和元年東日本台風の教訓を踏まえ、またいつ来るとも限らない未曾有の大災害から市民の生命・財産を守るための対応が求められています。中橋架替事業はまさにそのための主たるハード整備として一刻も早い完成が望まれているとともに、南北市街地を結ぶシンボル軸となる道路であることから足利市の“顔”とあるような魅力的な道路景観の形成も求められています。今後とも地域の皆さんや関係機関の御理解・御協力を得ながら事業の早期完成に向けて関係者一丸となって取り組んで参ります。

熊本・福岡 震災復興視察

2023.10.26～10.28

山本建設株式会社 代表取締役社長 菊池 祥一

近年における当会の研修旅行は、2013年に十数年ぶりに復活、伊勢神宮にて身も心も清め、工事の無事と各社の繁栄を祈念したことに始まり、2014年は出雲大社参拝、2015年に富山ライトレール視察、2016年は近場で参加しやすい企画をと鎌倉・横浜方面と続き、1年休憩をはさんだ後、2018年に沖縄首里城見学と順調に回を重ねて参りましたが、2019年以降は世界を大混乱に追い込んだコロナの影響により、長らく自粛の年が続きました。

コロナ禍では、あらゆる物事が大きな制約を受ける中、我々業界団体においても様々な会合や事業が中止に追い込まれる事態となりました。この未曾有の時代を経て、人々の考え方やライフスタイルは大きく変化し、web会議などがスタンダードとなる一方で、我々は『人が相対で接する重要性や共助の精神の大切さ』をあらためて認識させられました。

今回は5月にコロナが5類に移行したことをきっかけに、会員相互の意思疎通が重要であるとの観点から、研修旅行を再開することとなりました。

本研修の目玉は、2016年の熊本地震によって被災した熊本城の復興工事の視察です。はたしてどのような匠の技が見れるのか。心躍らせながら羽田空港より出発です。

順調に熊本空港に到着、バスにて阿蘇方面へ、まずは日本料理さか本さんの懐石料理で、楽しい旅の始まりを祝して乾杯。乾いたのどを潤します。



写真1：阿蘇神社

食事のあとは熊本地震にて崩落した阿蘇大橋を架け替えた新阿蘇大橋にて食後の散歩。最大橋脚高97mのスケールを感じながら施工者の苦勞を想像し頭が下がる思いです。

次は歴史ある阿蘇神社にてそれぞれの思いを込めて参拝、いったんホテルにチェックインし休憩の後、城見櫓さんの個室プライベート空間で夜の熊本城を見ながら郷土懐石を堪能。明日の熊本城視察を楽しみに床に就きました。



写真2：新阿蘇大橋



写真3：熊本城

二日は朝から熊本城へ直行、熊本城ミュージアムのVR映像にて城や復興の概要を聞き、語り部ガイドさんに続いていざ出発!と思ったところ、天気が急変、無情にも雨に水を差されました。急遽傘を購入し気を取り直して順路を進みます。まずは城の外部を回るルートですが、まだまだ城壁や壁、屋根が崩れたままの部分が多々あります。見ると並んでいる石垣の石にはナンバリングがされ、元通りに組むのだからか。とてつもない手間暇がかかっていることをあらためて学びました。さらに進んで天守閣に登るころには雨も本降り、雷鳴まで聞こえます。小走りでも内部に入り、階段を上り始めたところ、何か大きな舞台装置のようなものが崩れ落ちるような轟音が鳴り響きました。驚いて振り返ると、天守閣前の広場付近の木に雷が落ちたようだとのこと。外に居なくて良かった、こんなこともあるのかと思いつつ、けが人など緊急性を感じる動きもないようなので先へ進みました。天守閣内では展示物を見学するというよりも、階段の上り下りを頑張ったという記憶が勝っています。

見学後は、場内の阿蘇庭 山見茶屋にて馬刺しの溶岩焼をいただきました。みなさん動いたのでお腹がすいたのか、どのテーブルでも馬刺しや赤肉のおかわりの声が続きました。食事を終えて外に出るころには、雨も上がり晴れ模様となりました。

食後は水前寺公園を散策し、九州新幹線にて博多へ、地下鉄をへて宿に戻りました。

夕食は博多華味鳥にて水炊きを堪能、宿で今日はだいぶ歩いたけれど食べすぎてから落とさない...などと考えているうちに眠っていました。

最終日は大宰府天満宮を訪問、学業の神様とのことで、子供の成績が下げ止まることを祈願し、お昼は柳川の白柳荘にてうなぎのせいろ蒸しをいただきました。一見これまでの暴飲暴食で荒れた胃にはかなり量が多いと感じましたがなんのその、タレの絡んだご飯がとてもおいしく全て完食させていただきました。

食休みに柳川の船下り、往年の船頭さんの小気味よい歌声を聞きながらのんびりとした気分には浸っていると、え!ここ通れるの!?!と思うくらい低い橋が目の前に。参加者の驚きの声をよそに、船頭さんはピョンと船から橋の上に飛び移り、進む船に置いてけぼりとなった我々は、参加者同士折り重なるようにしてなんとかくぐり抜けました。気づけば船頭さんは橋から船に戻っており、「〇〇さんと抱き合っちゃったよー」とか「〇〇さんの尻が目の前に…」などの声が聞こえる中、参加者同士世代を超えて笑いあった瞬間でした。

盛りだくさんだった研修旅行も終わりを迎え、佐賀空港から羽田へ無事到着、各自帰路につきました。

アフターコロナの今、平常時の幸せをあらためて感じると共に、この当たり前がいつまでも続くよう願ってやみません。

この度の旅行を企画いただきました皆様、ご一緒させていただきました皆様に感謝申し上げ、旅の思い出のご報告とさせていただきます。



写真4：柳川船下り

1. (一社)栃木県舗装協会 通常総会

令和6年5月16日 宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和6年度通常総会を開催いたしました。今年度も昨年同様に来賓をご招待しての開催となりました。

開会后、岩見高士会長から「コロナ禍が終息に向かい日常生活が戻りつつありますが、建設業界は円安や資材の値上がり及び人手不足と大きく影響しています。協会員共に努力して諸問題に取り組んでまいります。」との挨拶がありました。

その後、15年と25年の永年勤続優良従業員15名への表彰式を行いました。

議事に入るにあたり事務局から、会員数44名のところ40名の出席で総会が成立することが報告され、令和5年度の事業報告・収支決算及び令和6年度の事業計画・収支予算(案)について原案通り承認されました。

次いで役員を選任が行われ、下記のとおり新役員が就任いたしました。



岩見高士会長挨拶

令和6年度 一般社団法人 栃木県舗装協会 役員 (敬称略)

役職	氏名	会社名	備考
会長	岩見高士	株式会社 浜屋組	
副会長	和知孝道	渡辺建設 株式会社	
副会長	磯部尚士	磯部建設 株式会社	
理事	荒井学	宇都宮土建工業 株式会社	
理事	岩見武	株式会社 大岩建設	
理事	竹内智祐	栃舗建設工業 株式会社	総務委員長
理事	天野雅彦	天野建設 株式会社	技術委員長
理事	丸山隆重	丸山重機 株式会社	広報委員長
理事	菊池祥一	山本建設 株式会社	
理事	吉澤定男	吉沢建設 株式会社	安全管理委員長
理事	増淵勝明	株式会社 増淵組	
専務理事	阿久津好光	一般社団法人 栃木県舗装協会	
監事	岩澤賢典	岩澤建設 株式会社	

顧問	木村好文	栃木県議会議員	
顧問	螺良昭人	栃木県議会議員	
顧問	神谷幸伸	栃木県議会議員	

相談役	菊池茂	(元) 栃木県舗装協会会長	
相談役	岩澤理夫	(前) 栃木県舗装協会会長	

(令和6年7月1日現在)

2. 永年勤続優良従業員表彰

令和6年5月16日 令和6年度(一社)栃木県舗装協会通常総会において、永年勤続優良従業員として15名の方々の表彰式が行われました。

受賞されました皆様方の、これからのさらなるご活躍をご祈念申し上げます。



永年勤続優良従業員表彰受賞者

令和6年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第1項該当者)15年 (敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤続期間	勤続年数
伊藤技建(株)	工事主任	阿部良行	平20.2～令6.3	16年
伊藤技建(株)	工事主任	坂本俊幸	平20.7～令6.3	15年
宇都宮土建工業(株)	主任	山口翔	平21.3～令6.3	15年
(株)野澤實業	工事部部长	大平侑弥	平20.4～令6.3	15年
丸山重機(株)	総務部次長	八下田好夫	平18.7～令6.3	17年
山本建設(株)	土木部職長	阿久津和典	平16.5～令6.3	19年
渡辺建設(株)	土木部課長	大塚淳一	平19.11～令6.3	16年

令和6年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第2項該当者)25年 (敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤続期間	勤続年数
岩澤建設(株)	工事部次長	津久井昌彦	昭61.4～令6.3	38年
岩澤建設(株)	工事部主任	福田裕次	昭61.4～令6.3	38年
宇都宮土建工業(株)	課長	渡邊充一	昭60.3～令6.3	39年
(株)大岩建設	土木課係長	金澤基晴	平11.4～令6.3	25年
(株)菊地組	執行役員	若杉俊春	平1.4～令6.3	35年
(株)谷黒組	土木部	星睦己	平10.4～令6.3	25年
東武建設(株)	課長補佐	阿久津慎二	平11.4～令6.3	25年
丸山重機(株)	総務部係長	吉田孝子	平10.6～令6.3	25年

3. 令和5年度舗装三県合同協議会

令和5年10月11日 栃木県の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、令和5年度舗装三県合同協議会を開催しました。本来の栃木県担当は令和2年度でしたが、コロナ禍により3年越しの開催となりました。

大会前には、宇都宮市に開通したばかりのライトラインへ乗車していただき、その後、宇都宮市建設部LRT整備課協同広報室 副主幹 黒崎隆氏より「芳賀・宇都宮LRT事業(愛称:ライトライン)について」のご講話をいただきました。

この協議会は群馬・茨城・栃木の3県で構成され、毎年持ち回りで開催し、「アスファルト合材の発注者別総出荷量の推移と道路関係予算の推移」の報告が行われ、その後、各県からの提案議題として、「道路の予防保全について(栃木県)」、「労働時間の短縮について(茨城県)」、「県発注における週休2日制の取り組みについて(群馬県)」等の意見交換会が行われました。

また、各県の皆様の活発なご討議の中で、次回の協議会を群馬県で開催することを決め、会議を閉会しました。



ライトライン(平石駅)



舗装三県合同協議会大会

4. 令和6年度安全衛生大会・安全衛生セミナー

令和6年6月14日、宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、建設業労働災害防止協会栃木県支部と栃木県アスファルト合材協会との共催で開催しました。

なお、大会の開催に先立ち、日本赤十字社栃木県支部の活動説明をお聞きしました。



日本赤十字社説明



令和6年度優良安全管理現場代理人表彰受賞者

【安全衛生大会】

舗装協会の岩見高士会長の挨拶に続いて、細谷房夫安全管理副委員長からの安全パトロールの結果講評に続き、優良安全管理現場代理人表彰が行われ、6名の方々に表彰状と記念品が贈られました。

表彰されました皆様方の、これからのさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

その後、株式会社入江組の入江克拓氏が安全宣言を読み上げました。



岩見高士舗装協会会長挨拶



安全宣言 入江克拓氏

令和6年度優良安全管理現場代理人表彰名簿(敬称略)

氏名	会社名	工事名(箇所)
東部B 川中子 朋樹	(株)野澤實業	市道5340号線 橋梁工事上部工(市道5340号線) 宇都宮市上籠谷町
西部A 門澤 正明	東武建設(株)	一般県道栗山日光線 舗装修繕工事 栗山日光線その16 (道保全単) 日光市所野
西部B 今井 大樹	上岡土建(株)	一般国道121号 道路改良工事 121号その4 (快安道補) 鹿沼市深津
南部 中田 循司	岩澤建設(株)	3-3-3号小山栃木都賀線 舗装工事 3-3-3号小山栃木都賀線その3(補助街路) 栃木市大宮町
北部A 横山 政行	佐藤建設工業(株)	一般県道蒲須坂喜連川線 舗装修繕工事 蒲須坂喜連川線その12 (道保全単) さくら市早乙女
北部B 木下 昂昭	石川建設(株)	主要地方道西那須野那須線 道路改良工事 西那須野那須線その1(快安道補) 那須塩原市埼玉

【安全衛生セミナー】

安全衛生セミナーは、建設業労働災害防止協会栃木県支部の専務理事 古川弘氏により、「安全専一(我が国の安全運動は栃木県から始まった)」と題してご講演をいただきました。



講演者 古川弘氏

5. 令和6年度暴力対策連絡大会

令和6年度安全衛生大会に引き続き「ホテルニューイタヤ」で開催しました。

暴力対策連絡大会は、平成24年4月に「栃木県暴力団排除条例」が施行されたことから開催しております。

磯部尚士栃木県アスファルト合材協会長の挨拶後、公益財団法人栃木県暴力追放県民センター専務理事寺崎 耕氏より、「建設業は反社会的勢力の格好の標的」と題して、ご講演をいただきました。

その後、決意表明を栃木県アスファルト合材協会理事 小林徹郎氏が読み上げ、閉会となりました。



磯部尚士合材協会会長挨拶



講演者 寺崎耕氏



決意表明 小林徹郎氏

6. 県土整備部との舗装事業に関わる意見交換会

令和5年11月21日に宇都宮市の「東武ホテルグランデ」において、栃木県県土整備部と舗装事業に関わる意見交換会を開催しました。コロナ禍により3年ぶりの開催となりました。県土整備部から、林次長、谷次長以下関係課長にご参加いただき、岩見会長から林次長へ舗装協会からの要望書をお渡しし、その後、県幹部様と要望内容について意見交換を行いました。



要望書提出



意見交換会の状況

7. 令和5年度ゴルフコンペ (秋季)

会員の親睦交流のために年2回(春秋)開催をしています。

令和5年11月30日に唐沢ゴルフ倶楽部で開催しました。



8. 令和6年度ゴルフコンペ (春季)

令和6年5月30日にハウライカントリー倶楽部で開催しました。



9-1. 令和5年度 第1回 安全パトロール

令和5年10月19日から10月31日の間、安全管理委員会による第1回の安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の工事現場9ヶ所について安全管理委員が6班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、そして、現場の難易度6項目について、各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い、必要に応じ現場で注意、指導助言等を行いました。

今回の調査については、工事の進捗である出来高が平均で約63.6%で、また評価点数で最高が90.0点、最低が16.0点となり、

平均では75.4点という状況でした。

パトロール現場は、交通が多く、それぞれ苦慮しながら対応されていました。

これからも現場や現場周辺の安全を確保するため、今般のパトロールにおける注意事項や指導事項を早急に改善し、周辺環境に十分配慮した安全管理を行い、工事現場周辺も含めて事故の防止に努めていただきたいと思います。

なお、パトロール結果は下記のとおりであり、今後の安全管理を図るために記載いたしますので参考にして下さい。

●パトロール結果の評価

1. 学校が近くにあり、児童・生徒の通学路であり、規制看板の外枠はプラスチック製、件名板にはガードカバーが設置されていた。
2. 現場周辺へ花のプランターを設置し、イメージアップに努めていた。
3. 現道上の工事のため、ガードマンと現場の人達が毎日打合せを行い、事故防止に努めていた。

●パトロール結果からの是正事項

1. のぼり旗4枚で架空線注意を施していたが、架空線自体にも防護を行うと良い。
2. 現場事務所の中が第三者から見えるので、ブラインド等を設置した方が良い。
3. 現場終点部に矢印板等を設置した方が良い。

●現場で苦慮している事項

1. 交差点規制が発生する箇所なので、発注者設計以上の誘導員を配置し、規制を行っている。
2. 電柱の移設があり工程管理に苦慮している。
3. 現況道路の幅員が狭く、歩行者通路の確保に苦慮している。

●パトロール実施状況(10月19日~10月31日)

班名	実施日	調査箇所数
東 部 A	10月24日(火)	1箇所
東 部 B	10月31日(火)	1箇所
西 部 A	10月19日(木)	1箇所
西 部 B	10月23日(月)	2箇所
南 部	—	—
北 部 A	10月19日(木)	2箇所
北 部 B	10月24日(火)	2箇所
計		9箇所



東部A



東部B



西部A



西部B



北部A



北部B

9-2. 令和5年度 第2回 安全パトロール

令和6年1月17日から2月15日の間、安全管理委員会による第2回の安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の現場11箇所について安全管理委員が6班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、そして、現場の難易度6項目について、各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い、必要に応じ現場で注意、指導助言等を行いました。

今回の調査については、工事の進捗である出来高は平均で約63.4%、また評価点数は最高86.7点、最低が69.3点、そして平均は80.8点という状況でした。

●パトロール結果の評価

1. 作業状況をライブカメラで会社に配信し、安全施工の確認を行っているのが先進的である。(建設DXの活用)
2. 山間部で見通しの悪いカーブでの施工のため、交通誘導員の配置等の工夫がおこなわれており、災害防止を図っている。
3. アスファルト舗装に関する化学物質のリスクアセスメントが行われており、記録が残されている。

●パトロール結果からの是正事項

1. 路肩(傾斜部)にプライマー機が輪止め等設置されずにおかれている。
2. 現場事務所と施工箇所が離れているため今後の対策として、現場付近に作業員休憩所の設置を検討してはどうか。
3. 歩行者が通行する通路に段差注意の看板を設置して、注意喚起したほうが良い。

●現場で苦慮している事項

1. 高速道路上の鏡面防水及び排水性舗装施工の工事のため、飛散落下防止に配慮していた。
2. 見通し悪く幅員狭小の片側通行規制を、認識して安全な誘導を行っている。



東部A



西部A



西部B



南部



北部A



北部B

パトロール現場は交通量が多く、速度超過の車両がある箇所において、十分に安全管理がなされながら工事が進められていました。

今後とも現場や現場周辺の安全を確保するため、注意・指導事項などの改善に努め、周辺環境に十分配慮した安全管理を行うとともに、工事現場周辺を含めて事故防止に努めていただきたいと思います。

なお、パトロール結果については、下記のとおりでありましたので、今後の安全管理を図るために記載させていただきましたので参考にしてください。

●パトロール実施状況(1月17日～2月15日)

班名	実施日	調査箇所数
東部A	1月17日(水)	1箇所
東部B	—	—
西部A	2月1日(木)	1箇所
西部B	2月13日(火)	4箇所
南部	2月1日(木)	1箇所
北部A	2月15日(木)	2箇所
北部B	2月14日(水)	2箇所
計		11箇所

10. 道路環境美化活動(愛ロード事業)

道路は通学・通勤・経済活動等、子供から高齢者までの多くの県民が社会活動を行う上で、最も身近な公共施設であります。ごみの不法投棄等で道路環境の悪化が目立ち、悩ましい問題となっております。

そこで当協会は、ボランティア団体として、空き缶等のゴミ拾いや雑草の除去等の清掃や、トンネル内のガードパイプや壁面の清掃等を通して、道路利用者の道路を愛する心を育んでいます。具体的には、「道路」を清潔で安全・快適に利用できるようにするため、環境美化ボランティア活動事業として「愛ロードとちぎ」を行うことにより、道路に対する道路利用者のマナーと意識向上を図ることが期待されます。

今年で14年目を迎えたこの事業は、栃木県舗装協会と宇都宮市、道路管理者である県がパートナーとして連携協力し、主要地方道路宇都宮向田線の宇都宮市埴田1丁目(埴田トンネル)から田川東橋の約1.5kmにおいて、安全で快適な道路環境の維持向上を図ると共に、安全で快適な県土づくりと道路利用者の意識向上を図る目的として行われ、1回につき約30名程度の参加者のご協力のもと、年6回の清掃作業活動を実施しています。

なお、令和6年8月7日の愛ロードは、熱中症予防のため埴田トンネルのみでの清掃活動となりました。



令和5年度第5回愛ロード(埴田トンネル)

令和5年度の実施状況 開催日及び参加人員

- 第1回 令和5年 4月12日 …… 27名
- 第2回 令和5年 6月12日 …… 31名
- 第3回 令和5年 8月 9日 …… 26名
- 第4回 令和5年 10月 4日 …… 26名
- 第5回 令和5年 12月13日 …… 24名
- 第6回 令和6年 2月14日 …… 24名



令和6年度第2回愛ロード(宇都宮向田線)

令和6年度の実施状況及び予定 開催日及び参加人員

- 第1回 令和6年 4月10日 …… 30名
- 第2回 令和6年 6月12日 …… 27名
- 第3回 令和6年 8月 7日 …… 25名
- 第4回 令和6年 10月 9日 …… 30名
- 第5回 令和6年 12月11日 予定
- 第6回 令和7年 2月12日 予定

11. 令和5年度・6年度技術研修会

(1) 令和5年9月21日に、第4回技術研修会を「i-Construction/建設DXセミナー～舗装工事編～」と題して西尾レントオール(株)北関東テクノヤードにて開催しました。



(2) 令和5年11月15日に、第5回技術研修会を「舗装分野におけるカーボンニュートラル」について、栃木県舗装会館4F大会議室で行いました。



(3) 令和5年11月21日に、第6回技術研修会を(株)トプコンソキアポジショニングジャパン白河トレーニングセンターにおいて、「現場の効率化になる3次元設計データとBIM/CIMのモデルデータ作成と活用方法」について、研修会を開催しました。



(4) 令和6年6月10日に磯部建設(株)アスファルト合材工場、そして11日の瑞穂澀青工業(株)のプラントに分かれて、第1回技術研修会を開催しました。この研修会は「アスファルト混合物の製造方法」をテーマに開催いたしました。



磯部建設(株)アスファルト合材工場



瑞穂澀青工業(株)

(5) 令和6年6月25日に第2回技術研修会を舗装会館4階大会議室で開催し、「抗ナビを活用したICT活用工事」をテーマに、会員及び一般の参加者を含め32名が受講しました。



(6) 令和6年7月24日に第3回技術研修会を舗装会館4階大会議室で開催しました。受講案内は当協会会員のほか建設関係会社等にご案内し、さらに、当協会のホームページにも掲載しました。出席者は会員会社20名、会員外会社4名及び県からは2名の参加がありました。

- ・特別講演 「令和5年度の事故発生状況とリスクの把握について」
講師 県土整備部技術管理課検査班 検査監 小野 浩明氏
「検査の視点について」
講師 県土整備部技術管理課検査班 副検査監 築瀬 和裕氏

- ・舗装研修「舗装に関する最近の動向」
講師 ニチレキ(株)関東支店 技術課長 神田 伸行氏
「舗装の長寿命化技術の紹介」
講師 ニチレキ(株)関東支店 技術課長 神田 伸行氏



12. 令和5年度安全衛生講習会

令和5年11月15日に、第5回技術研修会終了後に「死亡災害の撲滅」と題しまして、建設業労働災害防止協会栃木県支部 専務理事 古川弘氏のご講話をいただきました。



13. 令和6年度舗装施工管理技術講習会

令和6年6月5日に舗装会館4階大会議室において、「令和6年度舗装施工管理技術講習会」を開催しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症終息後会場に集まった講習会は2回目となり、受講者は熱心にメモを取りながらの受講となりました。



講義内容

(1) 土木一般

講師 日瀝道路(株)東京支店 支店長 西岡 誠氏

(2) 施工計画・管理

講師 日瀝道路(株)東京支店 支店長 西岡 誠氏

(3) 舗装

講師 日瀝道路(株)本社 安全品質環境部 部長 平沼 宏治氏

(4) 法規・応用及び傾向と対策

講師 日瀝道路(株)本社 安全品質環境部 部長 平沼 宏治氏

14. 各種委員会

(敬称略)

委員会名	分掌事務	委員長	副委員長	委員
総務委員会	協会の組織及び運営管理・諸規定・会員の資格審査・会費・分担金・その他、他の委員会に属しない事項について審議する。	竹内 智祐 (栃舗建設工業(株))	増淵 勝明 (株)増淵組 神谷 成美 (神谷建設(株))	13名
技術委員会	舗装工事に関する技術水準の向上を図るための調査・研究と、労務・資材の需給に関する調査、関係法令の研究及び、これらの事項に関する講習会・見学会の開催、諸官庁・諸団体との連絡・調整を行う。	天野 雅彦 (天野建設(株))	佐藤 俊之 (佐藤建設工業(株)) 阿部 勝 (渡辺建設(株))	12名
安全管理委員会	工事の安全衛生対策の推進を図るため、労働安全衛生関係法令の調査・研究を行うと共に、現場/パトロールを実施し、現地に即した対策を指導・検討する。	吉澤 定男 (吉沢建設(株))	岩澤 賢典 (岩澤建設(株)) 小野崎弘明 (株)浜屋組	45名
広報委員会	協会の広報・宣伝活動として、機関誌「ホームページ」の発行・ホームページの管理・運営、その他の調査・研究・紹介を行い、それを通して関係機関との連絡・調整・連携を図ると共に、一般社会へのPRにも努める。	丸山 隆重 (丸山重機(株))	菊池 祥一 (山本建設(株)) 遠藤 充正 (岩澤建設(株))	11名

(令和6年6月1日現在)

1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会

令和6年5月10日 宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和6年度の定時総会を開催いたしました。今年も新型コロナウイルス感染症対策をとりつつの開催となりました。

磯部尚士会長の挨拶後議事に入り、令和5年度の事業報告・収支決算及び令和6年度の事業計画・収支予算(案)について、原案通り可決承認されました。

さらに、役員を選任がされ、右記のとおり就任いたしました。



磯部尚士会長挨拶

令和6年度 栃木県アスファルト合材協会役員 (敬称略)

役職	氏名	会社名
会長	磯部 尚士	磯部建設 株式会社
副会長	川上 清	瑞穂瀝青工業 株式会社
副会長	太刀川益弘	東武道路工業 株式会社
理事	小林 徹郎	光洋建設 株式会社
理事	香月 雅治	株式会社 宇都宮アスコン
理事	神山 裕	株式会社 浜屋組
理事	川崎 亮	栃木共同アスコン 株式会社
監事	秋山 俊幸	日本道路株式会社 栃木合材センター
監事	谷澤 正宏	世紀東急工業株式会社 佐野混合所

相談役	増淵 秋雄	(元)栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	岩見 高士	(前)栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	阿久津好光	栃木県アスファルト合材協会

(令和6年5月10日現在)

2. 栃木県アスファルト合材協会 功労者表彰

令和6年度栃木県アスファルト合材協会定時総会において、功労者として7名の方々の表彰式が行われました。次いで、令和6年度(一社)日本アスファルト合材協会功労者表彰の工場表彰及び個人表彰を行いました。

表彰されました皆様方の、これからのご活躍をご祈念申し上げます。



功労者表彰受賞者

令和6年度 功労者表彰名簿

(敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤務期間	勤続年数
磯部建設(株)	アスファルト事業部 工事課 課長級工事長	中田 恭央	平5.4~令6.3	30年
東武道路工業(株)	取締役総務部長	辻本 拓磨	平19.9~令6.3	16年
栃木県北アスコン(株)	取締役工場長	中村 信明	平16.7~令6.3	20年
日本道路(株)栃木合材センター	事務係長	三條 恵美	平13.4~令6.3	22年
栃木共同アスコン(株)	製造担当	橋本 督司	昭56.8~令6.3	42年
(株)浜屋組	製造係長	五味 重昭	平11.10~令6.3	24年
前田道路(株)栃木合材工場		染田 順子	平8.4~令6.3	27年

令和6年度(一社)日本アスファルト合材協会功労者表彰

工場表彰 ナスアスコン(株)

個人表彰 小西竜也(瑞穂瀝青工業(株))

3. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 第35回北関東ブロック連絡協議会大会

令和6年7月26日に茨城県神栖市鹿島セントラルホテルにおいて、第35回北関東ブロック連絡協議会大会が開催されました。本県からは磯部尚士会長をはじめ8名が参加をされました。

北関東ブロック連絡協議会は、栃木・茨城・群馬の三県で構成されており、持ち回りで大会を開催しております。



磯部尚士会長挨拶

「令和6年度の大会スローガン」は、

- ① 快適職場の合い言葉 安全第一 ゼロ災害
- ② エコ運転 するぞ節電 減らすぞCO2
- ③ 適正価格と確かな品質 未来につながる道しるべ

となっております。

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
天野建設(株)	代表取締役	天野 雅彦	0287-23-2520	0287-22-3585	〒324-0011 大田原市北金丸1546-7
(株)生駒組	代表取締役	生駒 憲一	0287-36-0648	0287-37-1466	〒329-2735 那須塩原市太夫塚5-221
石川建設(株)	代表取締役	石川 裕之	0287-62-0054	0287-63-8357	〒325-0045 那須塩原市高砂町5-12
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
伊藤技建(株)	代表取締役	伊藤 守行	0289-65-4121	0289-65-4145	〒322-0045 鹿沼市上殿町687-1
(株)猪股建設	代表取締役	猪股 弘樹	0287-59-0114	0287-37-5515	〒324-0206 大田原市中野内2126
(株)入江組	代表取締役	入江 克拓	028-656-1132	028-656-1154	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-250
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 理夫	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保田町564-1
岩原産業(株)	代表取締役	岩原 正樹	028-662-8441	028-663-3091	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地6-12
(株)薄井土木	代表取締役	薄井 幹夫	0287-65-2234	0287-65-2289	〒329-3152 那須塩原市島方379-9
宇都宮土建工業(株)	代表取締役社長	荒井 学	028-656-1222	028-656-7569	〒321-0112 宇都宮市屋板町568-1
(株)大岩建設	代表取締役	岩見 武	0287-23-1610	0287-23-3250	〒324-0042 大田原市末広1-4-40
上岡土建(株)	代表取締役	上岡 利之	0289-76-2788	0289-76-1472	〒322-0026 鹿沼市茂呂252-1
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 雄大	0289-65-2121	0289-65-2124	〒322-0034 鹿沼市府中町383
(株)菊地組	代表取締役	菊池三紀男	028-664-3348	028-664-3250	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地45-2
小平興業(株)	代表取締役	石黒 靖規	028-658-1600	028-659-0284	〒321-0151 宇都宮市西川田町1164
桜岡建設(株)	代表取締役	櫻岡 増実	0287-23-3456	0287-23-7646	〒324-0016 大田原市北大和久24
(株)佐藤組	代表取締役	磯 祐二	0287-98-3782	0287-98-3763	〒324-0403 大田原市湯津上1140
佐藤建設工業(株)	代表取締役社長	佐藤 俊之	028-682-6524	028-682-0128	〒329-1334 さくら市押上1065
(株)シンエヌ	代表取締役	清水 憲	028-634-7280	028-634-7281	〒320-0842 宇都宮市京町9-50
大幹建設(株)	代表取締役社長	入江 誠	028-656-2615	028-656-2427	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-105
(株)高久組	代表取締役	高久 美穂	0287-72-0148	0287-72-5507	〒329-3222 那須町大字寺子丙1
(株)谷黒組	代表取締役社長	谷黒 公重	0287-32-2220	0287-32-2827	〒329-2921 那須塩原市塩原1100

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
(株)千葉建設	代表取締役	千葉 恭裕	028-658-8746	028-658-3199	〒321-0155 宇都宮市西川田南1-47-20
(株)津野田土木	代表取締役	津野田 哲	0285-53-6451	0285-53-6246	〒329-0527 上三川町上神主462-1
東武建設(株)	代表取締役社長	飯野 秀夫	0288-21-8321	0288-21-7385	〒321-2411 日光市大桑町138
(株)東部興業	代表取締役	高田 和幸	0285-56-2509	0285-56-2855	〒329-0603 上三川町大字東蓼沼156
東武道路工業(株)	代表取締役	伊藤 章夫	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃舗建設工業(株)	代表取締役	竹内 智祐	028-648-2594	028-648-8670	〒320-0851 宇都宮市鶴田町3620-7
中村土建(株)	代表取締役社長	渡邊 幸雄	028-622-6581	028-622-6292	〒320-0014 宇都宮市大曾4-10-19
(株)中山建設	代表取締役	中山 正子	0287-88-7145	0287-88-7147	〒321-0526 那須烏山市田野倉819-1
那須土木(株)	代表取締役社長	玉木 勇介	0287-23-5678	0287-23-0355	〒324-0056 大田原市中央1-13-10
(株)野澤實業	代表取締役	野澤 充広	028-656-2851	028-656-6422	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-7-9
野中建設(株)	代表取締役	野中伸之助	028-624-9890	028-624-9891	〒320-0004 宇都宮市長岡町384-4
(株)浜屋組	代表取締役社長	岩見 高士	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
(株)増淵組	代表取締役社長	増淵 勝明	028-633-7373	028-637-4401	〒321-0933 宇都宮市築瀬町2500-15
(有)松本工務店	代表取締役	松本 友一	0285-73-1600	0285-74-5454	〒321-4523 真岡市さくら4-1-20
(株)丸あ組	代表取締役	荒井 恭一	028-633-6664	028-635-8664	〒321-0933 宇都宮市築瀬町1947-8
マルホ建設(株)	代表取締役	星 豪紀	0287-57-0008	0287-23-6807	〒324-0215 大田原市南方530
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
吉沢建設(株)	代表取締役	吉澤 定男	0289-62-4916	0289-62-6070	〒322-0006 鹿沼市富岡1342
渡辺建設(株)	取締役会長	和知 孝道	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員



天野 雅彦
天野建設株



生駒 憲一
株生駒組



石川 裕之
石川建設株



磯部 尚士
磯部建設株



伊藤 守行
伊藤技建株



飯野 秀夫
東武建設株



高田 和幸
株東部興業



伊藤 章夫
東武道路工業株



竹内 智祐
栃舗建設工業株



渡邊 幸雄
中村土建株



猪股 弘樹
株猪股建設



入江 克拓
株入江組



岩澤 理夫
岩澤建設株



岩原 正樹
岩原産業株



薄井 幹夫
株薄井土木



玉木 勇介
那須土木株



野澤 充広
株野澤實業



野中 伸之助
野中建設株



岩見 高士
株浜屋組



増淵 勝明
株増淵組



荒井 学
宇都宮土建工業株



岩見 武
株大岩建設



上岡 利之
上岡土建株



神谷 雄大
神谷建設株



菊池 三紀男
株菊池組



松本 友一
南松本工務店



荒井 恭一
株丸あ組



星 豪紀
マルホ建設株



丸山 隆重
丸山重機株



菊池 祥一
山本建設株



石黒 靖規
小平興業株



櫻岡 増実
桜岡建設株



磯 祐二
株佐藤組



佐藤 俊之
佐藤建設工業株



清水 憲
株シンエヌ



吉澤 定男
吉沢建設株



和知 孝道
渡辺建設株



入江 誠
大幹建設株



高久 美穂
株高久組



谷黒 公重
株谷黒組



千葉 恭裕
株千葉建設



津野田 哲
株津野田土木

栃木県アスファルト合材協会 会員名簿

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 理夫	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保町564-1
(株)宇都宮アスコン	代表取締役	香月 雅治	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
大林道路(株) 栃木アスファルト混合所	所長	石村 真二	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
光洋建設(株)	取締役副社長	小林 徹郎	0285-23-1165	0285-23-1441	〒323-0014 小山市喜沢689
世紀東急工業(株) 佐野混合所	所長	谷澤 正宏	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580
東武道路工業(株)	専務取締役	太刀川益弘	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃木北アスコン(株)	代表取締役	吉田 大輝	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷町玉生1820
栃木共同アスコン(株)	代表取締役	川崎 亮	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 壬生町福和田1013-1
栃木県北アスコン(株)	代表取締役	岩見 武	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
日本道路(株) 栃木合材センター	所長	秋山 俊幸	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
(株)浜屋組	取締役第2土木部長	神山 裕	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
(有)富士川産業	代表取締役	田村 達夫	0285-25-2080	0285-23-0723	〒323-0808 小山市出井1970-2
前田道路(株) 栃木合材工場	工場長	若狭雄二郎	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
瑞穂瀝青工業(株)	代表取締役	川上 清	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
渡辺建設(株)	取締役会長	和知 孝道	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

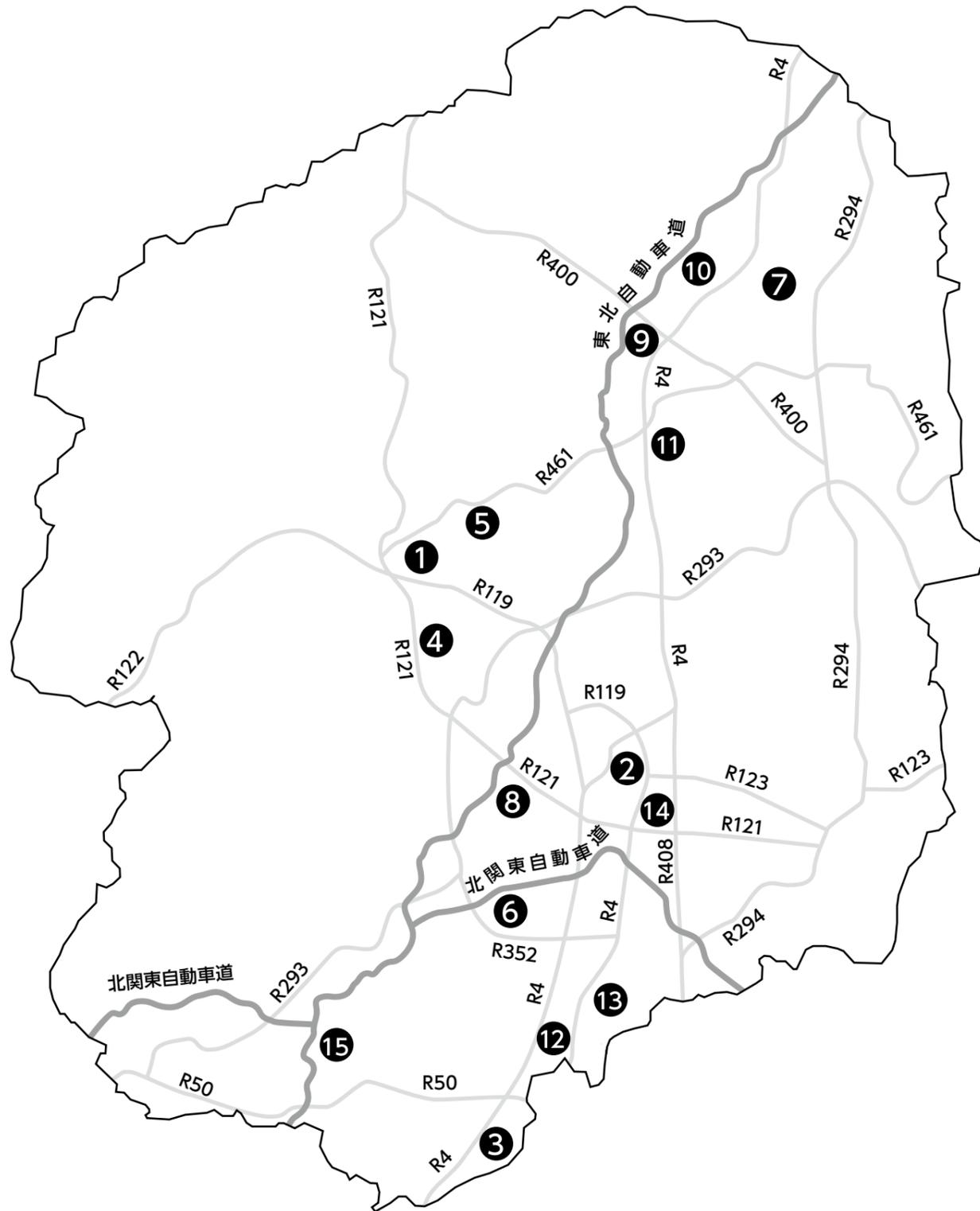
(令和6年10月現在)

栃木県アスファルト合材協会 工場一覧

工場名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
① 磯部建設(株) アスファルト合材工場	工場長	藍原 雅人	0288-26-3273	0288-26-3190	〒321-2331 日光市針貝字茅場1071-10
② 宇都宮アスコン (前田道路(株)・(株)宇都宮アスコン)	所長	若狭雄二郎	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
③ 光洋建設(株) 小山合材工場	取締役副社長	小林 徹郎	0285-27-5411	0285-27-6657	〒323-0817 小山市東野田2280-4
④ 東武道路工業(株)	工場長	西村 光幸	0288-27-1217	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
⑤ 栃木北アスコン(株)	代表取締役	吉田 大輝	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷町玉生1820
⑥ 栃木共同アスコン(株)・渡辺建設(株) 栃木工場	代表取締役	川崎 亮	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 壬生町福和田1013-1
⑦ 栃木県北アスコン(株)	取締役工場長	中村 信明	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
⑧ 栃木合材センター (日本道路(株)・大林道路(株)・山本建設(株))	所長	秋山 俊幸	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
⑨ ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
⑩ 那須合材センター (日本道路(株)・丸山重機(株))	所長	峯村 新也	0287-65-3452	0287-65-3477	〒329-3155 那須塩原市笹沼字中島原453-10
⑪ (株)浜屋組 アスファルト合材工場	取締役第2土木部長	神山 裕	0287-43-1818	0287-43-1818	〒329-2122 矢板市針生365
⑫ (有)富士川産業	工場長	田口 朋幸	0285-25-2080	0285-20-6021	〒323-0808 小山市出井1970-2
⑬ 前田道路(株) 栃木合材工場	工場長	若狭雄二郎	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
⑭ 瑞穂瀝青工業(株)	工場長	青木 崇	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
⑮ 両毛アスコン (世紀東急工業(株)・岩澤建設(株))	所長	谷澤 正宏	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580

(令和6年10月現在)

栃木県アスファルト合材工場所在図



お願い・お知らせ

会員の皆様や、本誌をご覧の方々からの、ご意見・エッセイ・表紙用写真などの、ご投稿をお待ちしております。
いつでも何でも結構です。
機会をみて順次掲載させていただきますので、
よろしくお願い致します。



栃木県舗装協会

検索

表紙写真『郡山布引風の高原』撮影日(令和6年8月19日)



猪苗代湖の南に位置する標高約1,000mの高原で、磐梯山や猪苗代湖が一望できる絶好のロケーション「郡山布引風の高原」(福島県郡山市)

日本最大級の風力発電所で2007年に営業運転を開始し、高さ約100mもある33基の巨大風車の下、約180万本のヒマワリが咲き誇っています。

「郡山布引風の高原まつり」の開催もあり、布引高原ひまわりウォークや大根収穫体験など様々な企画も行っています。

元々布引高原ではダイコンが栽培されていたが、農家の高齢化で畑に空きがでるようになり、土地を有効活用するためはじめたことです。

12月～4月下旬までは積雪のため閉鎖となっていますが、5月上旬～6月上旬は菜の花、8月中旬～9月上旬はヒマワリ、8月下旬～10月中旬はコスモス、色んな時期で景色を楽しむことができます。

次に咲くのは菜の花です。ひまわりとはまた違った美しさを観に足を運んでご覧ください。

撮影者/長谷川 麻衣(渡辺建設株式会社)

編集後記

舗装協会Pavement49号が無事発行いたしました。取材協力頂いた皆様、編集業務に携わった皆様、多くの方のご協力に感謝申し上げます。

唐突ですが、「アザラシ幼稚園」なるものをご存じでしょうか？ 一部のネット界隈で話題です。オランダのアザラシ保護センターにて保護した子供アザラシの様子をyoutubeライブ配信しており、日本人が癒しを求めて大挙して視聴しており、チャット募金もセンター側が驚く金額になっているようです。たしかに子供アザラシはかわいいですし、海に戻すシーンなどは親心を刺激します。とことん日本人は「カワイイ」が好きな人種ですね。しかし中年の私は俯瞰してしまう所もあり、ブーム後の落日が心配です。世界の片隅をリアルタイムで知る事が出来る時代、世界中の人々がネットでコミュニケーション出来る時代。常識・概念が変わって新しい思考が主流となる時代がもうすぐ来ると思います。

丸山 隆重

広報委員長 丸山 隆重 丸山重機(株)	副委員長 菊池 祥一 山本建設(株)	遠藤 充正 岩澤建設(株)
杉田 浩幸 磯部建設(株)	橋本 正人 神谷建設(株)	田中 昌浩 佐藤建設工業(株)
江部 毅 野中建設(株)	藤島 崇 (株)浜屋組	平塚 学 (株)増渕組
伊東 啓太 山本建設(株)	高橋 福雄 渡辺建設(株)	